

# 一般社団法人 日本腎不全看護学会

## 2024年度 定時社員総会資料

日 時:2024年11月8日(金)  
16:15 ~ 17:15

会 場:富山市民プラザ 3F マルチスタジオ  
(富山県富山市大手町6番14号)

### 【報告事項】

- ・入会状況・年会費納入状況
- ・2023年度事業報告
- ・その他の活動報告

### 【決議事項】

第1号議案:2023年度収支計算書ならびに財務諸表承認の件

第2号議案:2024年度事業計画および予算案承認の件

第3号議案:学術集会大会長承認の件

※社員総会にご出席される方は、この資料を必ずご持参ください。総会の円滑な運営にご協力をお願いいたします。

一般社団法人日本腎不全看護学会 第5期組織図

会員総会

社員総会 社員:61名

理事会 理事および監事:23名

理事会	常任理事会	理事長 岡美智代 副理事長 鳥居芳行 常任理事 青木栄子 板谷真紀子 薄井園(会計担当) 劔持貴史 高橋さつき
	監事	熊澤ひとみ 濱井章

委員会	編集委員会	小坂志保 服部智子	桐明あゆみ 武田貴美子 山内英樹	久米真代 濱田昌実	高橋さつき* 松村直子	
	教育委員会	片村幸代	井島順子 田村由衣 山下麻紀	鈴鹿ゆかり 鳥居芳行*	鈴木智恵 中野いずみ	
	研究委員会	小坂志保	伊藤美和子 久貝波留菜 吉田恵美	大橋尚弘 濱田昌実	岡美智代* 松村直子	
	看護研究助成 審査委員会	飯田美沙	清水なつ美	高橋さつき*	松木理浩	
	広報委員会	今西伸子	安藤恭代 兒玉朱美	薄井園* 増田佐智子	熊谷幸喜	
	看護政策委員会	銚立優作	後藤浩也 西津規	多久和善子 吉本隆史	鳥居芳行*	
	医療安全・感染 対策委員会	小山貴也	篠原謙太 中島朋美	谷口弘美	鳥居芳行*	
	災害対策委員会	徳田勝哉	石田真由 木村剛 高杉奈穂子 山本裕美	薄井園* 後藤浩也 長尾尋智 由井淑子	音成絵美 鈴鹿ゆかり 山岸さゆり	
	国際交流委員会	高井奈美	劔持貴史*	齋藤凡		
	倫理委員会	山本美和	岩崎和子 田中いずみ	薄井園* 新田靖之	小柴隆史	
	統計調査委員会	篠原謙太	岡美智代* 福島亮	久貝波留菜 森田悦敬	長谷川とし子 山田哲也	
	認定委員会	宇賀神ゆかり	青木栄子* 黒田沙織 中野国枝 不動寺美紀 吉田恵美	大西冬美 杉山瞬 西川沙織 山岸さゆり	大森泉 高梨未央 平野道枝 由井淑子	
	CKDLN委員会 [9地区代表]	江上豊	青木栄子* 東北:熊谷幸喜 東海:井島順子	杉谷珠美 本井裕二 関東:由井淑子 近畿:中尾弘美	北海道:石原文緒 北陸:藤野陽子 中国四国:三宅よしえ 九州沖縄:山口洋子	
	CKD委員会	城間久美絵	板谷真紀子* 木村剛 松木理浩	井本千秋 深山美香	植木博子 不動寺美紀	
	学術集会企画委員会	・27回:松木理浩 ・28回:神谷千鶴				

\*:委員会への常任理事の配置に関する規定、第3条に該当する者

正会員:CKDLN \*慢性腎臓病療養指導看護師(旧 透析療法指導看護師)

Chronic Kidney Disease Leading Nurse

都道府県名	正会員数	CKDLN	都道府県名	正会員数	CKDLN
北海道	168	51	滋賀県	52	13
青森県	36	11	京都府	75	24
岩手県	37	8	大阪府	227	66
宮城県	53	5	兵庫県	134	35
秋田県	28	9	奈良県	50	18
山形県	34	16	和歌山県	18	4
福島県	30	4	鳥取県	34	11
茨城県	59	16	島根県	19	3
栃木県	56	10	岡山県	68	13
群馬県	34	4	広島県	107	37
埼玉県	173	37	山口県	46	14
千葉県	194	48	徳島県	21	9
東京都	298	81	香川県	38	14
神奈川県	258	63	愛媛県	64	22
新潟県	34	4	高知県	23	7
富山県	56	19	福岡県	204	66
石川県	45	16	佐賀県	30	6
福井県	29	6	長崎県	46	14
山梨県	30	8	熊本県	68	17
長野県	61	19	大分県	31	7
岐阜県	62	14	宮崎県	19	6
静岡県	72	15	鹿児島県	36	8
愛知県	354	104	沖縄県	28	6
三重県	34	13	住所不明	30	0
合 計			会員・CKDLN	3703	1001

第20回までのCKDLN試験合格者累計:2275名

※CKDLN在籍者数

賛助会員 35

個人	0
法人	35

男女比	女性 91.2%	男性 8.8%
看護資格	看護師 99.2%	准看護師 0.8%

## 日本腎不全看護学会 会員状況・年会費入金状況

### 2024年8月末現在

正会員数 3,703名

CKDLN人数 1,001名

2022年度年会費 入金 3,193名 86.2%

2023年度年会費 入金 3,140名 84.8%

### 2023年8月末現在

正会員数 3,747名

CKDLN人数 1,077名

2021年度年会費 入金 3,258名 86.9%

2022年度年会費 入金 3,239名 86.4%

## 2023 年度事業報告

### 常任理事会

理事長：岡美智代

事業内容	事業実施事項
<p>1. 本学会の安定稼働 (本学会が安定して、運営できるように理事会及び常任理事会を開催し、課題の整理、検討を行った)</p>	<p>1. 第5期理事会および常任理事会開催</p> <p>1) 理事会の開催 委員会活動、学会運営の意見交換、検討を行った。第2回以降の開催についてはすべてリモート開催（Zoomによる開催）。</p> <p>第1回理事会 2023年11月17日（土）17:00～18:00 第2回理事会 2024年2月3日（土）15:00～17:15 第3回理事会 2024年5月18日（土）15:00～17:40 第4回理事会 2024年8月3日（土）15:00～17:15 第5回理事会 2024年10月12日（土）15:00～（予定）</p> <p>2) 常任理事会の開催 理事会の開催にあたり、各委員会の議案に対して事前確認と整理を行った。</p> <p>第1回常任理事会 2024年1月19日（金）15:00～16:51 第2回常任理事会 2024年5月10日（金）15:00～17:07 第3回常任理事会 2024年7月19日（金）15:00～16:49 第4回常任理事会 2024年9月27日（金）15:00～（予定） 第5回常任理事会 2024年11月7日（金）15:00～（予定）</p>
<p>2. 「運営目標1: 国民への情報発信の強化と関連組織との連携」について</p>	<p>1) 2024年1月1日に発生した能登半島地震への支援として、JHAT（日本災害時透析医療協働支援チーム）への人材派遣、寄付を行った。寄付については、2024年7月8日の臨時総会を開催し承認を得た。</p> <p>2) 研究委員会、国際交流委員会、災害対策委員会、医療安全委員会、倫理委員会への支援を通して関連組織との連携活動を行った。</p> <p>3) 広報委員会への支援を通して、JANNの活動について情報発信を行った。</p> <p>4) 第26回日本腎不全看護学会学術集会・総会（会場：仙台）の運営支援を行った。</p>
<p>3. 「運営目標2: 腎不全看護の知識と実践の構築と発展」について</p>	<p>編集委員会、研究委員会への支援を通して研究成果の創生と研究推進を行った。</p>
<p>4. 「運営目標3: 腎不全看護を担う人材育成と活用」について</p>	<p>研修、セミナー、看護研究助成金の授与、CKDLN, CN, CNSの活動支援など、すべての委員会への支援を通して、人材育成を推進した。</p>

<p>5. 「運営目標 4: 組織インフラとシステムのリストラクチャー」について</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 従来の執行役員という名称を、他の学会でもよく使われている常任理事という名称に改めた。</li> <li>2) 第 5 期理事選出後、2023 年 11 月 17 日の総会にて、各委員会委員長と委員が承認された。その後、各委員会が目標を持って活動しやすいように、4 つの運営目標を提示した。なお、この 4 つの運営目標の詳細は、JANN 学会ホームページ、「理事長挨拶」で紹介している。</li> <li>3) 各委員会による運営目標の迅速な実施や委員会間の情報共有のため、各委員会への常任理事を配置した。これにより、常任理事会と各委員会間の確認事項が迅速かつに行われるようになり、委員会間の活動内容の連携が強化された。</li> <li>4) 1 名の理事が辞退したため、2024 年 7 月 8 日に臨時総会を開催し、補充を行った。</li> </ol>
--	--

## 2023 年度事業報告

編集委員会

委員長：小坂志保

事業内容	事業実施事項
1. 学会誌発行（完全オンライン化）	<p>(1) 2024 年 4 月 第 26 巻 1 号オンライン発刊            2024 年 1 月 掲載原稿決定            2024 年 2 月 最終原稿受理            2024 年 3 月 校正</p> <p>(2) 2024 年 10 月 第 26 巻 2 号オンライン発刊予定            2024 年 8 月 掲載原稿決定            2024 年 9 月 最終稿入稿            2024 年 10 月 校正            2024 年 10 月末発刊予定</p>
2. 査読セミナーの開催	<p>2024 年 9 月 29 日(日)に zoom にて開催予定 約 45 名参加</p> <p>セッション 1 リアルタイム査読            質的研究 編集委員 武田貴美子            量的研究 編集委員長 小坂志保</p> <p>セッション 2 研究デザインによる査読のポイント            質的研究 編集委員 服部智子            量的研究 編集委員 濱田昌実</p>
3. 投稿規定の改定	<p>2024 年 5 月末時点で投稿規定の改定を行い、ホームページに掲載</p>
4. 事業運営のための委員会開催	<p>(1) 2023 年 12 月 12 日 Web 開催            (2) 2024 年 1 月 16 日 Web 開催            (3) 2024 年 2 月 20 日 Web 開催            (4) 2024 年 3 月 28 日 Web 開催            (5) 2024 年 4 月 30 日 Web 開催            (6) 2024 年 6 月 6 日 Web 開催            (7) 2024 年 8 月 14 日 Web 開催            (8) 2024 年 9 月 19 日 Web 開催</p>
5. 学会員の論文投稿促進事業	<p>2024 年 11 月に開催される日本腎不全看護学会内にて編集委員会ブースを設け、論文投稿相談を受けつける予定</p>

2023 年度（2023 年 9 月 1 日～2024 年 8 月 31 日）論文投稿状況  
投稿数

8 件（誤操作による重複投稿で取り下げがなされた 3 件を除く）

うち、

採択 2 件（採択率 25%）

不採択もしくは査読後取下げ 3 件

査読工程中 2 件

編集委員会による査読前差し戻し 1 件

論文種別

原著 5 件

資料 3 件

平均査読期間

137.5 日

うち、

採択案件のみ 242.5 日

不採択・進行中案件のみ 102.5 日

参考：2022 年度（2022 年 9 月 1 日～2023 年 8 月 31 日）論文投稿状況  
投稿数

8 件（誤操作による重複投稿で取り下げがなされた 2 件を除く）

うち、

採択 2 件

不採択もしくは査読後取下げ 6 件

論文種別

原著 4 件

資料 3 件

実践報告 1 件

平均査読期間

187.125 日

うち、

採択案件のみ 238 日

不採択案件のみ 170.2 日



## 2023 年度事業報告

教育委員会

委員長：片村幸代

事業内容	事業実施事項
<p>1. 第 26 回 JANN 学術集会併設基礎教育セミナー</p>	<p>2023 年 11 月 19 日（日）現地開催 『CKD トータルケアとしての腎移植－腎移植ケアガイドの活用方法－』 講師：小坂 志保 先生（東邦大学看護学部） 『「腎移植」は特別じゃない！知らないとお患者さんは損してる』 講師：河野 恵 先生（奈良県立医科大学附属病院） 座長：鳥居 芳行（日本腎不全看護学会教育委員長 / （医）光寿会 法人本部）</p>
<p>2. 治療選択特別研修</p>	<p>すべて WEB 開催 2024 年 3 月 10 日（日） 講座 A：参加人数 117 名 講座 B：参加人数 107 名 2024 年 3 月 24 日（日） 講座 E：参加人数 92 名 講座 F：参加人数 96 名 2024 年 3 月 31 日（日） 講座 C：参加人数 103 名 講座 D：参加人数 129 名</p> <p>※ 各講座のテーマ 講座 A：「血液透析・腹膜透析・腎移植の治療選択に関わる 意思決定支援」 講座 B：「治療選択に関わる看護倫理と意思決定支援の概要 エンドオブライフケア、フレイル、アドバンスケアプラン ニング」 講座 C：「治療選択に関わる多職種協働・専門職連携のあり方」 講座 D：「治療選択における高齢者ケア、認知症ケア、家族ケアのあり 方」 講座 E：「治療選択に必要なメンタルヘルスとコーチング」 講座 F：「治療選択の意思決定支援における事例のまとめ方と 研究の取り組み」</p>
<p>3. CKDLN 研修</p>	<p>WEB 開催 2024 年 3 月 17 日（日） 【テーマ】「腎不全看護における高齢者ケア実戦 日々の実践の価値を 考えよう」 講師：三村洋美先生 昭和大学看護学部</p>

<p>4. トピックス研修</p> <p>5. 第 27 回 JANN 学術集会併設基礎教育セミナー</p> <p>6. 治療選択特別研修テキスト見直し作業</p>	<p>参加者：45 名</p> <p>WEB 開催 2024 年 8 月 11 日（日） 「透析と災害」 前半 90 分「災害対策と日常管理」 講師 徳田勝哉 日本腎不全看護学会災害対策委員長 後半 90 分「透析施設で行うべき災害対策と透析医療の組織的災害支援の仕組みを考える」講師 森上辰哉 かいべ循環器透析クリニック</p> <p>現地開催 2024 年 11 月 10 日（日）13：45～14：45 テーマ「SDM と ACP—考え方と実践」 講師 会田薫子先生 東京大学大学院人文社会系研究科死生学・応用倫理センター 上廣講座 座長 鳥居芳行</p> <p>現在見直し作業中</p>
--	---

## 2023 年度事業報告

### 研究委員会

委員長：小坂志保

事業内容	事業実施事項
1. 研究委員会倫理審査部 研究倫理審査受付窓口開設	<p>JANN での臨床研究推進のために、施設単位の倫理審査委員会が設置されていない会員の研究の倫理審査を実施すべく、研究委員会倫理審査部を 2021 年度に設立した。2023 年 2 月 27 日より日本腎不全看護学会ホームページ上に「研究倫理審査」のタブを立ち上げ、研究倫理審査受付窓口を開設した。今年度は、倫理審査の申請は 0 件であった。</p>
2. 学会員の研究能力向上のための活動	<p>1) 2024 年 5 月 26 日に第 3 回研究倫理セミナー、2024 年 8 月 4 日に第 4 回研究倫理セミナーを開催した。参加者は各回 80 名を上回り、臨床でのリサーチクエストのさがし方、文献検索方法、文献クリティーク方法を 5 月に、研究計画書の書き方、量的・質的・介入研究の進め方を 8 月に実施した。</p> <p>2) 2024 年 11 月に開催される第 27 回日本腎不全看護学会にて研究相談ブースを開設予定である。</p> <p>3) JANN 会員の研究推進を目的として、会員が計画した研究について、SOLTI に登録されている学会員のメールアドレス宛に一斉メールを送信した。今年度依頼件数 1 件であった。</p>
3. 腎不全看護学の向上に寄与する重要課題について検討し、研究委員会主導で学会全体のエビデンスの構築	<p>令和 6 年 6 月より慢性腎臓病透析予防指導管理料が算定されたことを受け、JANN 会員に対して「保存期 CKD 患者における看護実践及び、成果資料に関する実態調査」を行った。9 月末までをデータ収集期間とし、今後解析・論文化を行っていく予定である。</p>
4. 事業推進のための委員会開催	<p>事業推進のための委員会開催</p> <p>第 1 回 2023 年 12 月 15 日 web 会議</p> <p>第 2 回 2024 年 1 月 22 日 web 会議</p> <p>第 3 回 2024 年 2 月 29 日 web 会議</p> <p>第 4 回 2024 年 3 月 20 日 対面会議 東京</p> <p>第 5 回 2024 年 5 月 8 日 web 会議</p> <p>第 6 回 2024 年 6 月 18 日 web 会議</p> <p>第 7 回 2024 年 7 月 24 日 web 会議</p>

## 2023 年度事業報告

看護研究助成審査委員会

委員長：飯田美沙

事業内容	事業実施事項
1. 研究助成事業	<p>(1) 看護研究助成公募：2023 年 10 月 1 日～2024 年 2 月 28 日</p> <p>(2) 応募者の申請内容の審査および助成の決定、交付</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総応募数 1 件</li> <li>・厳正な審査後、理事会の承認を得て以下の 1 件に決定した。</li> </ul> <p style="padding-left: 40px;">「身体的フレイル・オーラルフレイルに着目した多職種協働によるプログラムの開発」</p> <p style="padding-left: 40px;">大森 泉様（クローバースマイル訪問看護ステーション）</p> <p style="padding-left: 40px;">期間：2024 年 6 月 1 日～2025 年 5 月 31 日 助成金額：50 万円</p>
2. 研究助成結果報告の確認	<p>(1) 事務局を通じて、研究期間を終了した助成者 7 名の研究進捗状況を確認し、委員間で情報共有した。情報共有のため、適宜メール会議を開催した。今年度は、研究期間を終了した助成者 7 名中 4 名の助成者が、研究助成規程の第 4 条（義務）にある看護研究助成実績報告書もしくは学術集会発表内容の学会誌掲載を完結した。</p> <p>(2) 過去の助成者の研究進捗状況の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1 名の看護研究助成実績報告書の提出を確認、第 27 回発表予定</li> <li>1 名の看護研究助成実績報告書の提出を確認</li> <li>1 名の論文投稿準備中（他学会誌）を確認</li> <li>* 1 名の看護研究助成実績報告書の学会誌掲載を確認（25 号 2 巻）</li> <li>* 1 名の看護研究助成実績報告書の学会誌掲載を確認（26 号 1 巻）</li> <li>* 1 名の学術集会発表内容の学会誌掲載を確認（26 号 1 巻）</li> <li>* 1 名の学術集会発表内容の学会誌掲載を確認（26 号 1 巻）</li> </ul> <p>上記 4 名（*）は学会誌掲載に関して委員による支援介入を行った。いずれも日本腎不全看護学会誌に掲載されたものである。</p>

## 2023 年度事業報告

広報委員会

委員長：今西伸子

事業内容	事業実施事項
1. メールニュース配信	<p>No.8 2023年10月12日配信</p> <p>No.9 2024年2月15日配信</p> <p>No.10 2024年6月13日配信</p>
2. SNS 配信	<p>関連学会やセミナーなどのお知らせの他、能登半島地震では災害対策委員会と連携し、救援物資の募集やボランティア活動の支援、現地の透析施設の状況報告を行なった。</p> <p>2023年9月～2024年8月までに、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Facebook は、53 回配信。</li> <li>・LINE 公式アカウントは、42 回配信。(配信回数が少ないのは、月5回の制限があるため)</li> </ul> <p>LINE 公式アカウントの登録者は、8月末で985名。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2024年1月より新たに、Instagram が加わり、8月までに40回配信を行なった。</li> </ul>
3. ホームページの運用と管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページの各委員会からの修正・追加</li> <li>・関連学会からの学術集会、研修、セミナーなどの掲載 <ul style="list-style-type: none"> <li>・CKDLN 県代表者変更</li> </ul> </li> <li>・理事会で、ホームページの「Information」と「委員会からのお知らせ」の使い分けが決まり、各委員会の活動報告を掲載できるようになった。</li> <li>・ホームページに、Facebook、LINE 公式アカウント、Instagram のロゴマークを掲載した。</li> </ul>

## 2023 年度事業報告

看護政策委員会

委員長：鉾立優作

事業内容	事業実施事項
令和 8 年度腎不全看護領域の 診療報酬改定に向けた要件の 検討	第 1 回看護政策委員会会議 2023 年 12 月 27 日 第 2 回看護政策委員会会議 2024 年 4 月 8 日 統計調査委員会より篠原委員長、災害対策委員会より徳田委員長 に参加頂き意見交換 第 3 回看護政策委員会会議 2024 年 4 月 24 日 第 4 回看護政策委員会会議 2024 年 8 月 20 日
看保連 診療報酬あり方検討 委員会へ意向調査提出	2024 年 5 月 令和 8 年度診療報酬改定に向けた意向調査提出
診療報酬の仕組みに関する 研修会への参加	第 19 回情報交換会 2024 年 8 月 9 日（金）18:00-19:30 方 法：Zoom ウェビナーを用いたオンライン開催 テーマ：診療報酬の仕組みと看保連の役割 看護政策委員会メンバー及び理事にて研修参加

## 2023 年度事業報告

### 医療安全・感染対策委員会

委員長：小山貴也

事業内容	事業実施事項
<p>1. 日本医療事故調査機構 (医療事故調査・支援センター)との協働</p>	<p>1) 協力学会として更新・登録手続きをおこなった(2024年6月) 統括責任者：小山貴也・事務局担当者：柳澤晴美</p> <p>2) 日本医療事故調査機構(医療事故調査・支援センター)協力学会 説明会へ出欠票とアンケートを作成後に参加した 委員：中島朋美・谷口弘美が参加 (2024年3月14日14:00~15:30)</p> <p>3) 医療事故調査委の協力依頼に備え、全国8地区の担当者を選定し 承諾を頂いた。 ・北海道地区：小山貴也      ・東北地区：水尻信雄、 ・関東地区：中島朋美・谷口弘美      ・東海地区：山本美和、 ・北陸・甲信越地区：中野いづみ      ・近畿地区：江上豊、 ・中国四国地区：篠原謙太      ・九州沖縄地区：吉田恵</p> <p>4) ① &lt;C0134 個別調査部会&gt; に対応中の井本千秋氏の調査は2023年 12月27日をもって終了した。 ② &lt;C0199 個別調査部会&gt; 2023年2月27日に部会員2名の推薦依 頼あり、篠原健太氏と坊坂桂子氏が現在調査対応中。</p> <p>5) 新たな医療事故調査依頼はなし</p>
<p>2. 日本透析医学会危機管理 委員会医療安全小委員会 との協働</p>	<p>1) 第69回日本透析医学会学術集会総会「学会・委員会企画13：透析 医療における医療安全のための提言作成に向けて」において講演依 頼あり「転倒転落事故」をテーマに講演した(2024年6月7日)</p>
<p>3. 医療安全感染対策について 委員からの相談に対応する</p>	<p>1) 本年度は委員からの相談はなし</p>
<p>4. 事業推進のための委員会を 定期的に開催する</p>	<p>1) 会議の開催 第1回会議(2024年2月5日19:00~19:50: Web開催) 第2回会議(2024年4月30日19:00~19:30: Web開催) 第3回会議(2024年6月14日20:00~20:45: Web開催) 第4回会議(2024年9月下旬: web開催予定)</p>
<p>5. 「透析施設における標準的 な透析操作と感染予防に関 するガイドライン(6訂版)」 の改訂への参加</p>	<p>1) 2023年10月に責了し、12月29日に発刊され日本透析医会HPで PDF版がDL可能となった。これをもって、改訂作業は終了した。</p> <p>2) 本ガイドラインをJANNのHPへ掲載できるよう検討中。</p>

<p>6. 「透析医療における医療安全のための提言」策定のためのワーキンググループへの参加 (参加先：日本透析医会)</p>	<p>1) 担当：①除水関連：計算・設定ミスの執筆 ②除水関連：装置故障：査読 ③. 転倒転落事故防止：査読 ④. 薬剤（内服・注射・輸液）関連事故防止：査読</p> <p>2) 会議への参加</p> <p>2023年9月13日 17:00～18:15 小山不参加</p> <p>2023年12月6日 17:00～18:55（東京）小山参加</p> <p>2024年3月4日 17:00～18:30（Web）小山参加</p> <p>2024年5月29日 17:00～19:00（東京）小山参加</p> <p>2024年7月10日 7:00～19:00（Web）小山参加</p> <p>次回、2024年10月3日 17:00～19:00（Web）開催予定</p> <p>3) 小グループ会議への参加</p> <p>2024年4月28日（土）16:00～17:00（Web）</p> <p>2024年4月30日（土）19:00～21:00（Web）</p> <p>2024年5月12日（日）17:30～20:00（Web）</p> <p>2024年6月24日（（月）20:00～21:30（Web）</p>
<p>7. 協力学会からの講演依頼に対応する</p>	<p>1) 第29回日本血液透析濾過医学会学術集会・総会 合同企画WS2 「COVID-19 パンデミック past and future」 2023年11月26日 14:10～16:10 テーマ「COVID-19 流行が透析看護にもたらしたことと今後の課題」 JANN 代表として講演（20分）</p>



2023 年度事業報告

災害対策委員会

委員長：徳田勝哉

事業内容	事業実施事項
<p>1) JANN 会員の JHAT 隊員数の増員を目指す。</p>	<p>本委員会は、<u>JHAT 隊員または、JHAT 研修参加者を一定水準の透析医療に対する災害対策の知識の獲得・維持ができている者として認識していることを前提として下記の結果を算出した。</u>本年度は、看護師 JHAT 隊員は、2 回の JHAT 隊員養成研修会を開催し、41 名が増加し 145 名となった。全 JHAT 隊員は、423 名となった。また、職種別では、看護師：145 名 (34.3%)、臨床工学技士：(63.8%)、看護師×臨床工学技士のダブルライセンス：6 名 (1.4%)、医師：2 名 (0.4%) であった。次年度は、広報の質、回数共に強化したい。</p>
<p>2) JANN 会員の JHAT 隊員の地区分布の明確化</p>	<p>今年度は、東京都、宮城県、愛知県の 3 地区の開催であった。                  北海道：3 名増(12 名)、東北地区：7 名増(16 名)、関東地区：15 名増(27 名)、中部地区：5 名増(26 名)、関西地区 4 名増(22 名)、中国四国地区：4 名増(16 名)、九州地区：3 名増(26 名)であった。研修開催場所の影響もあるが、JHAT 看護師隊員が不在の都道府県は、11 県であった。全職種の JHAT 隊員では、福井が不在であった。詳細は下記へ提示する。次年度以降は、一定水準の透析災害の知識などを獲得した者 (JHAT 養成研修参加者) の増加が必須であるため、今回の調査結果と災害リスクが高い地域での研修の開催を促していきたい。</p> <p>都道府県別の<u>全職種</u>の JHAT 隊員数は、北海道：32 名、愛知：31 名、福岡：24 名、大阪・広島：各 22 名、東京：20 名、神奈川：19 名、埼玉・兵庫：各 18 名、熊本：18 名、千葉：17 名、京都：14 名、宮城・福島：各 12 名、鹿児島・岐阜：各 11 名、静岡・滋賀・高知：各 10 名、長野・三重：7 名、大分・宮崎：6 名、愛媛：5 名、和歌山・山口・香川・佐賀・長崎・富山・群馬・山形・青森：各 4 名、島根・石川・新潟：各 3 名、沖縄・鳥取・岡山・岩手・栃木・山梨：各 2 名、徳島・奈良・秋田・茨城：1 名、<u>福井：0 名</u></p> <p>都道府県別の<u>看護師</u>の JHAT 隊員数は、北海道：12 名、福岡：11 名、神奈川・愛知：各 10 名、京都：9 名、埼玉：8 名、広島：7 名、宮城・静岡・高知：各 5 名、長野・福島・東京・大阪・熊本：各 4 名、青森・山口・岐阜・千葉・三重・佐賀・宮崎：各 3 名、鹿児島・長崎・岩手・山形・富山・滋賀・兵庫・和歌山：各 2 名、茨城・群馬・新潟・石川・愛媛・大分：各 1 名、<u>福井・山梨・秋田・栃木・奈良・鳥取・島根・岡山・徳島・香川・沖縄：各 0 名</u></p>
<p>3) 災害時の収集した情報を会員へ還元し災害時の情報提供体制を構築する。</p>	<p>本会への情報提供体制は、災害直後に JANN 災害対策委員長(1 名)・JANN 災害対策委員 JSDT 担当(1 名)・JANN CKDLN 委員長(1 名)・JANN 広報委員長(1 名)・JANN 災害対策委員 理事担当(1 名)・JSCNN 災害対策委員長(1 名)・JSCNN 災害対策委員(1 名)の計 7 名で情報共有し、本会</p>

<p>4) 透析施設における災害状況の簡易報告ツールの検討と運用</p> <p>5) JHAT 事業への参画</p>	<p>理事や会員への情報提供に努めた。次年度は、連絡体制のフロー図作成をしていきたい。</p> <p>災害時の情報伝達・情報収集では、LINE を使用し全国の CKDLN 代表と JSCNN 委員会にて 2024 年 1 月の令和 6 年能登半島地震の際に、初の実践を実施できた。初動の災害報告としては、速やかな情報収集が実現でき、関係団体へ情報提供することができた。 次年度以降も内容・運用共に検討していきたい。</p> <p>本委員から、第 10 回 JHAT 隊員養成研修会(東京:2024 年 02 月)と第 11 回 JHAT 隊員養成研修会(宮城/愛知: 2024 年 07 月)へ派遣し運営側として参加した。また JHAT や透析医会の有事の際の緊急会議や、定例会議へ本委員会から常に参加できた。</p> <p>第 08 回 JHAT 隊員養成研修会(北海道)2022 年 11 月 (済)  第 09 回 JHAT 隊員養成研修会(熊 本)2023 年 07 月 (済)  第 10 回 JHAT 隊員養成研修会(東 京)2024 年 02 月 (済)  第 11 回 JHAT 隊員養成研修会(宮城/愛知)2024 年 07 月 (済)  第 12 回 JHAT 隊員養成研修会(静岡/香川) 2025 年 02 月 22-23 日予定</p>
--	---

2023 年度事業報告

国際交流委員会

委員長：高井奈美

事業内容	事業実施事項
<p>1. 会員が海外の慢性腎臓病看護について関心を高められるよう支援する。</p> <p>2. 海外の腎不全看護関連学会と交流し、各国の看護について情報を発信する</p>	<p>1) 国際学会について、会員に向けて情報を提供する 海外の腎不全看護について、会員に情報を提供する</p> <p>① 関連のある国際学会およびセミナー等の情報を、ウェブサイト上より発信する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2022/10にJANN名古屋大会にて7thANNSを開催。次回開催国が中国決定した。予定は、2024/9頃に開催予定とされていたが中国より詳細連絡がなかったため、JANN会員に案内ができていない（最終的に2024/8/下旬に学会運営事務局より連絡があったが、「現地開催」、「ホームページアドレス提示なし」であった。</li> </ul> <p>1) 海外の腎不全看護について、会員に情報を提供する</p> <p>① ANNSのメンバー国と連携し、お互いに情報交換を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オーストラリア、イギリス、中国、タイ、アメリカ、シンガポール各国から構成されたISPDリエゾンナース会の会議に2~3ヵ月おきにWebで開催している。2024年9月のISPDドバイ大会で対面ミーティング予定だが日本、シンガポール、中国は欠席予定。</li> </ul> <p>② 海外からアクセスできるよう、ホームページの英語表記を整える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・JANNホームページに掲載されている「理事長挨拶」「組織図」「災害一瞥」「CKDELNの役割」について翻訳会社を通じて翻訳していく。</li> <li>・Editageが医療翻訳を得意しており見積もり中（2024/9/15現在）</li> </ul> <p>③ 海外の学会や腎不全看護の動向について情報を収集し、ニュースレター等で会員に向けて発信する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2024/9/14-15に、京都国際会館で日本腎臓学会とヨーロッパ腎臓学会合同開催である「Kidney Health in Aging and Aged Societies JSN/ERA Symposium」が開催された。大会の中で「高齢者の腎代替療法を考える」ためのシンポジウムを企画された。そのシンポジウムにJANN国際交流委員長として登壇した。また、ポスターセッションにて研究委員会委員長も研究報告あり。これらの活動内容をニュースレターで活動報告する（2024/9/30締め切り分）</li> </ul> <p>④ 委員や会員の国際学会参加・発表等に関するレポートをウェブサイト上で発信する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・③のニュースレターを含め国際交流委員会の活動として報告する。</li> </ul> <p>⑤ 有用な海外文献、トピックスなどを発信する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ISPDガイドラインの情報提供を③のニュースレターを通じて報告する。</li> </ul>

2023 年度事業報告

倫理委員会

委員長：山本美和

事業内容	事業実施事項
<p>1. 「会員」、「学会活動」、「学会運営」、「その他必要とされる倫理的案件」について審議し、学会としての倫理上の指針を示す</p> <p>2. 本学会員における倫理的感受性を高め、倫理的な実践を促進するような公益性のある事業を行う</p>	<p>1) 「会員」の倫理 会員の行動を律する職業倫理規定は、日本看護協会の「看護者の倫理綱領」を基本とする</p> <p>2) 「学会活動」「学会運営」の倫理 会員は、「日本腎不全看護学会の定款」によって活動する役員、理事、社員は「定款」および「細則」に則って会の運営を行う</p> <p>3) 学会のための COI 規約 ①「利益相反に関する管理指針」、「利益相反に関する管理指針運用のための細則」の作成。 ②COI フローチャートを作成中</p> <p>1) 臨床倫理セミナーの運営と開催 ①2023 年 11 月開催の第 26 回日本腎不全看護学会学術集会・総会にて、交流集会を企画・運営 &lt;企画内容&gt; 日々の臨床実践で直面する倫理的な課題に関する事例をディスカッションする ②2024 年 11 月開催の第 27 回日本腎不全看護学会学術集会・総会にて、委員会企画シンポジウムの運営準備 臨床倫理について外部講師を招いてハイブリッドでのセミナーを行う(2 時間) &lt;企画内容&gt; 現場で活かせる臨床倫理 (臨床倫理基礎編) ～CKM や透析中断などの看護介入に必要な臨床倫理の知識や考え方～ 講演者：三浦靖彦教授(岩手保健医療大学、日本臨床倫理学会)</p> <p>2) 学会へ提出された抄録に対する倫理の取り決め ①「抄録の取り扱いについて」の規約作成 ②「抄録の取り扱いについて」のフローチャートの検討</p>

## 2023 年度事業報告

統計調査委員会

委員長：篠原謙太

事業内容	事業実施事項
1. 2022 年度に実施した JANN 会員に対するアンケートの集計と引継ぎ	2022 年度に本会会員を対象とした CKDLN の資格取得・更新に関する状況、意識に関する調査がされている。2023 年度は、そのアンケート結果の集計を実施した。その集計されたデータは、前年度までのワーキンググループメンバーに引き継いだ。
2. 2026 年度診療報酬改定に向けた調査内容の検討・準備	腎不全看護領域に関わる診療報酬には、糖尿病透析予防指導管理料や腎代替療法指導管理料などがあるが、本学会員がそれらの診療報酬に関わる看護実践をどれくらい実施されているか把握できていないため、学会員の看護実践の可視化と今後の診療報酬改定に活用できるデータ収集のためにレジストリの構築を行うことを検討した。2023 年度はそのレジストリの項目と、その運用方法について検討した。
3. JANN ホームページ（統計調査委員会紹介ページ）	本学会ホームページの統計調査委員会の紹介ページの更新を行った。

## 2023 年度事業報告

認定委員会

委員長：宇賀神ゆかり

事業内容	事業実施事項
1. CKDLN 認定審査事業	1) 第 21 回 CKDLN 認定審査の実施 申請期間：2024 年 1 月 5 日～1 月 18 日 筆記試験：2024 年 6 月 2 日（日）CBTS 方式 申請者：112 名 合格者：105 名 2) 事例審査 ・事例審査合否判定 3) 筆記試験問題作成会議の実施 ・筆記試験合否判定
2. CKDLN 更新審査事業	1) 更新審査事業の実施 申請期間：2024 年 4 月 1 日～4 月 17 日 ・第 16 回更新審査 申請者：74 名 ・第 11 回再更新審査 申請者：41 名 ・第 6 回再々更新審査 申請者：36 名 2) 事例審査
3. 支援事業	1) 第 26 回日本腎不全看護学会学術集会・総会における交流集会への参加 2) 第 26 回日本腎不全看護学会学術集会・総会における CKDLN 相談コーナーの開設 3) CKDLN 受験対策として事例の書き方セミナーの企画、開催に向けての WEB 会議（3 回）
4. 認定ポイント対象研修事業	1) 認定ポイント対象研修および認定ポイント対象企業主催研修に関する申請の審査の実施
5. 事業運営のための委員会開催	1) オンライン会議を基本として、年 4 回開催予定（うち 2 回は、認定審査受験資格審査判定会議、更新審査判定会議を兼ねる） 2) CKDLN 受験、更新、再更新、再々更新に関わる各種要項の作成および見直し
6. 日本腎不全看護学会認定慢性腎臓病療養指導看護師の商標登録	1) 申請に向けての準備と申請

## 2023 年度事業報告

### CKDLN 委員会

委員長：江上豊

事業内容	事業実施事項
1. 事業推進のために委員会を開催する。	1. CKDLN セミナーの進捗状況、理事会についての報告、CKDLN を活性化させるための方策など考えるために Web にて 7 回の委員会を開催した。
2. CKDLN 県代表者会を開催する	2. 富山大会前日に CKDLN 都道府県代表と地区代表を対象とした交流集会を開催予定。
3. CKDLN 広報活動	3. JANN の HP 上で CKDLN 地区会の HP やアドレスを公開した。また、富山大会前日の交流集会の様子を動画にして SNS での発信を計画中。その他にも、活動レポートを活性化できるようにインフォメーションの開始、活動レポートのテンプレートの提案を行った。
4. 地区レベルでの CKDLN セミナーを開催する	4. 下記の通り地区セミナーを開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2023 年 9 月 九州 CKD 看護研究会開催</li> <li>・ 2023 年 12 月 中四国地区セミナー開催</li> <li>・ 2024 年 8 月 関東地区セミナー開催</li> </ul> ※北陸地区セミナーは、3月に予定していたが延期中 ※東海地区セミナーは、5月に予定していたが延期中
5. 災害対策支援への連携	5. 能登震災時に、災害委員会と情報共有を行った。CKDLN 同士の連携が不十分である問題が見え、課題が明らかになった。
6. 感染症対策への連携	6. 実働無し
7 その他	7. CKDLN 地区セミナーに参加しやすいように、時間によって参加料を 3000 円に変更した。 第 27 回日本腎不全看護学会学術集会でワークショップを計画中

2023 年度事業報告

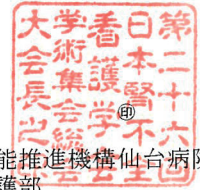
CKD 委員会

委員長：城間久美絵

事業内容	事業実施事項
1. CKD セミナーの開催	<p>内容：田辺三菱製薬医学教育助成金による「慢性腎臓病保存期患者教育講座」CKD 委員会セミナー全国 5 か所で開催</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) ZOOM で会議を行い、資料やスライドの作成を行った。</li> <li>2) 開催場所の選定や会場を決定し、調整を行った。</li> <li>3) 開催場所に近いスタッフで座長と発表者、受付担当に分かれ各地でのセミナーを開催した。</li> </ol> <p>①7 月 7 日：東京で開催 参加者：85 名            ②8 月 18 日：北海道で開催 参加者：85 名            ※9 月 8 日：熊本 参加者：104 名開催済            ※10 月 6 日：大阪・12 月 15 日：東京（池袋）で開催の予定</p>
2. 市民公開講座 in 熊本開催	<p>7 月 14 日に熊本県 CKD 看護研究会と共催し、「静かなる腎臓の世界」との演題名で市民公開講座を開催した。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 熊本県 CKD 看護研究会と連携し、市民公開講座を開催する会場の選定を行った。</li> <li>2) 腎臓専門医・管理栄養士・薬剤師・臨床・透析看護認定看護師の選定。</li> <li>3) 熊本市の行政とも連携、会議を行った。行政のスタッフには、市民へのアナウンスや当日の個人相談時の資料の提供、血圧計の準備担当として参加。</li> <li>4) 試供品の提供、腎不全悪化予防のパンフレットの配布。</li> <li>5) 講演前と講演後に個人相談コーナーを開催。アンケート調査。</li> <li>6) 参加者：73 名・個人相談者：45 名・アンケート集計：24 名</li> </ol>
3. 第 27 回日本腎不全看護学会共催「市民公開講座」準備	<p>11 月 10 日に、富山で「市民公開講座」を開催予定。市民へ配布するチラシとポスターを作成し、富山市保健所・北日本新聞社の後援を得て配布中である。講演を行う演者・座長の調整中。</p>



収支決算書  
第26回日本腎不全看護学会学術集会・総会



代表者 大会長 相澤 裕

所 属 独立行政法人地域医療機能推進機構仙台病院  
(JCHO仙台病院) 看護部

<収入の部>

(単位:円)

区分	項目	予算額	決算額	差異	備考
収入	参加費収入	17,346,000	14,850,000	2,496,000	会員(前期登録)@10,000円×794名、会員(後期登録)@12,000円×149名、非会員(前期)@13,000円×256名、非会員(後期)@15,000円×119名、学生(前期)@0円×0名、学生(後期)@3,000円×3名、招待@0円×14名
	懇親会参加費収入	400,000	0	400,000	一般懇親会@4,000円×0名 ※懇親会の開催中止
	抄録集売上収入	20,000	6,500	13,500	当日販売@2,000円×2部 / 事後販売(送料含む)@2,500円×1部
	広告料収入	2,343,000	803,000	1,540,000	プログラム@165,000円×0枠、プログラム@143,000円×0枠、プログラム@132,000円×0枠、プログラム@88,000円×6枠、プログラム@55,000円×3枠、HPバナー@110,000円×1社、コングレスバック@165,000×0件 ※コングレスバックの作成中止
	展示出展料収入	4,400,000	3,113,000	1,287,000	企業小間@143,000円×21小間、アカデミック展示@110,000円×1小間 書籍展示@22,000円×0本
	セミナー共催料収入	6,600,000	5,500,000	1,100,000	ランチョンセミナー@1,100,000円×1枠、@880,000円×4枠 スイーツセミナー@880,000円×1枠
	補助金	0	1,320,000	-1,320,000	学会本部補助金
	寄付金	0	410,000	-410,000	企業・関連病院等寄付金
	助成金	3,000,000	1,075,000	1,925,000	(公財)日本腎臓財団 585,000円、(公財)仙台観光国際協会 490,000円
	受取利息	200	62	138	普通預金利息
	雑収入	0	0	0	
	入合計(1)	34,109,200	27,077,562	7,031,638	

<支出の部>

区分	項目	予算額	決算額	差異	備考	
支出	事前準備費	人件費	2,696,650	3,137,299	-440,649	事務局固定人員1名×12ヵ月、臨時雇用人員1名×13回、事務局打合せ人件費
		登録処理費	1,735,900	1,613,849	122,051	参加登録処理:1,335件
		演題処理費	700,250	911,179	-210,929	一般演題登録処理:219件、指定演題登録処理:37演題
		印刷費	3,175,200	3,452,791	-277,591	封筒3,850部、趣意書40部、ネームカード1,700部、ポスター1,500部、チラシ3,000部、プログラム抄録集1,660部、進行スライド、ホームページ、マニュアル 大会名刺印刷費
		会議費	175,000	10,313	164,687	企画運営会議1回、プログラム編成委員会1回
		旅費交通費	125,000	212,504	-87,504	委員会2回(宿泊5名、交通費9名)
		通信費	950,300	973,015	-22,715	電話料金、送料(ポスター1,427部、参加章・プログラム抄録集1,092部、当日備品輸送など)
		備品費	0	0	0	—
		消耗品費	0	0	0	—
		事務用消耗品費	94,600	103,247	-8,647	文具、コピー費
	雑費	0	0	0	—	
	小計	9,652,900	10,414,197	-761,297		
	当日運営費	会場費	5,470,000	3,947,458	1,522,542	仙台市中小企業活性化センター、TKPガーデンシティ仙台 施設利用、3日間(前日設営含む)
		付帯設備費	2,560,000	560,871	1,999,129	映像・音響・照明設備、設備備品使用料
		機材費	3,909,500	3,635,825	273,675	映像・音響機材、技術要員10名、設営・撤去
		看板作成費	2,804,600	2,047,261	757,339	看板、表示板、ポスターパネル、間仕切り、設営・撤去要員4名
		会場設営費	1,100,000	707,900	392,100	展示基礎小間工事、設営・撤去要員36名、運搬、電源工事など
		委託費	0	0	0	—
		人件費	2,626,000	2,458,225	167,775	当日運営要員9名、協力員20名、アルバイト10名
		会議費	227,000	30,773	196,227	指定セッション打ち合わせ会
懇親会費		1,078,000	0	1,078,000	※開催中止	
ドリンクサービス		0	0	0	—	
招請費	1,473,300	827,369	645,931	海外講師(宿泊1名、旅費1名、謝金1名)、国内講師(宿泊1名、旅費7名、謝金8名)		
旅費交通費	898,000	860,750	37,250	委員(宿泊20名)		
賃借料	0	0	0	—		
雑費	2,002,300	1,465,868	536,432	記念品(待講師・座長用148個)、表彰状4枚、プリンターなど(現地 資料出力及び案内表示出力の為使用)他		
小計	24,148,700	16,542,300	7,606,400			
事後処理費	印刷費	29,700	44,329	-14,629	礼状202部	
	通信費	13,950	17,392	-3,442	送料(礼状202部)	
	支払報酬	93,500	46,200	47,300	源泉処理作業費	
	雑費	0	0	0	—	
小計	137,150	107,921	29,229			
その他	支払手数料	0	6,655	-6,655	—	
	予備費	170,450	0	170,450	—	
	返還金	0	6,489	-6,489	学会本部へ返還	
	小計	170,450	13,144	157,306		
	出合計(2)	34,109,200	27,077,562	7,031,638		
	収支差額(1)-(2)	0	0	0		

<収入の部>

項目	摘要	単価	数量	単位	金額	合計
参加費	前期登録（抄録集付き）					10,400,000
	会員	10,000	700	名	7,000,000	
	非会員	12,000	100	名	1,200,000	
	学生	3,000	20	名	60,000	
	後期登録（抄録集付き）					
	会員	13,000	100	名	1,300,000	
	非会員	15,000	50	名	750,000	
学生	3,000	30	名	90,000		
補助金	社団法人日本腎不全学会	1,000,000	1	式	1,000,000	2,540,000
	富山県学会等開催事業補助（県外参加者600～999人）	540,000	1	式	540,000	
	富山市コンベンション開催事業補助金（県外参加者600～999人）	1,000,000	1	式	1,000,000	
寄附金	寄附金（腎臓財団他）	440,000	1	式	490,000	490,000
広告掲載料	プログラム・抄録集					968,000
	表4（裏表紙・カラー）	165,000	0	社	0	
	表2（表紙裏・カラー）	143,000	0	社	0	
	表3（裏表紙裏・カラー）	132,000	0	社	0	
	後付1頁（モノクロ）	88,000	5	社	440,000	
	後付1/2頁（モノクロ）	66,000	8	社	528,000	
	HPバナー広告	77,000	0	社	0	
	HPビデオ広告	110,000	0	社	0	
コングレスバッグ	99,000	0	社	0		
出展料	企業展示	110,000	24	小間	2,640,000	2,640,000
	書籍展示	22,000	0	社	0	
共催費	ランチョンセミナー（500席規模）	880,000	2	社	1,760,000	5,720,000
	ランチョンセミナー（200席規模）	660,000	4	社	2,640,000	
	スイーツセミナー（200席規模）	660,000	2	社	1,320,000	
雑収入	銀行利息					0
<b>収入合計</b>						<b>22,758,000</b>

<支出の部>

項目	摘要	単価	数量	単位	金額	合計
会場費	富山国際会議場 施設利用料金、附属備品使用料	3,000,000	1	式	3,000,000	7,300,000
	富山市民プラザ 施設利用料金、附属備品使用料	500,000	1	式	500,000	
	会場整備・レンタル機材費	2,800,000	1	式	2,800,000	
	設営費（看板・サイン）	1,000,000	1	式	1,000,000	
印刷製本費	広報制作・印刷物 （ポスター、チラシ、封筒、ネームカード等）	1,100,000	1	式	1,100,000	3,200,000
	プログラム抄録集作成・印刷費	2,100,000	1	式	2,100,000	
	コングレスバッグ印刷費	1,000,000	0	式	0	
招聘費	謝金	500,000	1	式	500,000	800,000
	招待者宿泊・交通費	300,000	1	式	300,000	
運営費	当日運営人件費	3,000,000	1	式	3,000,000	8,950,000
	運営委託費（演題登録・参加登録関連費含む）	5,500,000	1	式	5,500,000	
	備品・消耗品・事務局経費	450,000	1	式	450,000	
雑費	文具・消耗品	50,000	1	式	50,000	920,000
	振込手数料,その他	100,000	1	式	100,000	
	オンライン決済手数料	10,400,000	5%		520,000	
	スタッフ昼食	250,000	1	式	250,000	
通信費	通信費（切手,メール便,宅配便等）	250,000	1	式	250,000	250,000
その他	運営委員宿泊費	250,000	1	式	250,000	857,000
	座長謝礼（1,000円）	1,000	75	名	75,000	
	スタッフ謝礼（1日5,000円）	10,000	50	名	500,000	
	学生謝礼（1日2,000円）	4,000	8	名	32,000	
予備費	収支差（予備費）				481,000	481,000
<b>支出合計</b>						<b>22,758,000</b>

※ランチョンセミナー弁当は企業側で予算を取っていただき、収支には含めない考え方で整理しています。

## 第1号議案 2023年度収支計算書ならびに財務諸表承認の件

2023年度（2023年9月1日から2024年8月31日まで）における当学会の各種計算書類は下記のとおりであるので、その承認を求める。  
あわせて、監査報告を行う。

# 2023年度収支報告書〈一般会計〉

自 2023年9月1日 至 2024年8月31日

収入の部			(単位:円)
項目	2023年度予算	2023年度決算	備考(内訳)
<b>年会費</b>	<b>35,580,000</b>	<b>34,610,000</b>	
	1,500,000	1,420,000	(一般) 過年度 142名
	33,060,000	32,140,000	(一般) 当年度 3,214名
	1,020,000	1,050,000	(賛助) 当年度 35口
<b>研修費</b>	<b>2,930,000</b>	<b>2,285,500</b>	
	600,000	0	CKDLN受験対策セミナー
	200,000	0	透析看護入門研修
	800,000	552,000	トピックス研修(第18回)
	400,000	188,000	CKDLN研修
	180,000	195,000	査読セミナー(第2回)
	300,000	1,065,000	研究倫理セミナー(第2~4回)
	450,000	285,500	臨床倫理セミナー
<b>教育セミナー費</b>	<b>3,500,000</b>	<b>440,000</b>	CKDLN地区セミナー(中国四国、関東)
<b>特別研修費</b>	<b>4,680,000</b>	<b>1,362,000</b>	治療選択特別研修
<b>その他収入</b>	<b>317,000</b>	<b>250,185</b>	
雑収入	317,000	250,084	著作権使用料、査読掲載料、認定ポイント対象研修申請料
受取利息	0	101	預金利息
<b>収入合計</b>	<b>47,007,000</b>	<b>38,947,685</b>	

# 2023年度収支報告書〈一般会計〉

自 2023年9月1日 至 2024年8月31日

## 支出の部 I

(単位:円)

項目	2023年度予算	2023年度決算	備考(内訳)
<b>会議費</b>	<b>1,550,000</b>	<b>738,485</b>	執行役員会・常任理事会4回、理事会・臨時理事会6回、臨時社員総会1回、社員総会・会員総会1回、会計監査1回 113,825 理事会・執行役員会・新理事顔合わせ会 (会議会場費) 194,075 社員総会・執行役員会・新理事顔合わせ会 (交通費) 29,720 社員総会・会員総会・臨時社員総会 (通信費) 400,865 社員総会・会員総会・臨時社員総会 (委託費、振込手数料)
<b>委員会活動費</b>	<b>5,517,400</b>	<b>1,275,998</b>	
	547,500	113,944	編集委員会 (委託費)
	280,000	0	教育委員会
	672,500	201,711	研究委員会 (会議費、交通費、日当、雑費)
	50,000	0	看護研究助成審査委員会
	181,000	0	広報委員会
	272,000	3,300	看護政策委員会 (委託費)
	298,000	0	災害対策委員会
	213,000	0	医療安全・感染対策委員会
	380,500	0	国際交流委員会
	150,000	193,812	倫理委員会 (会場費、会議費、交通・宿泊費、通信費、日当等)
	567,500	16,500	統計調査委員会 (委託費)
	600,000	270,722	CKD委員会 (市民公開講座:会場費、交通・宿泊費、通信費、ポスター印刷費、消耗品費、日当、委託費等)
	209,000	115,565	認定委員会 (通信費、委託費)
	1,096,400	360,444	CKDLN委員会 (会場費、会議費、交通・宿泊費、日当、委託費、雑費)

# 2023年度収支報告書〈一般会計〉

自 2023年9月1日 至 2024年8月31日

研修費	2,233,450	1,927,309	
	302,400	235,175	トビックス研修(第18回) (通信費、印刷費、謝礼、委託費)
	336,360	0	透析看護入門研修
	318,980	0	CKDLN受験対策セミナー
	180,550	179,604	学術集会併設セミナー (通信費、印刷費、謝礼、委託費)
	284,360	187,420	CKDLN研修 (謝礼、委託費)
	168,000	181,456	査読セミナー(第2回) (謝礼、委託費)
	158,000	623,700	研究倫理セミナー(第2~4回) (謝礼、委託費、zoom契約料、雑費)
	484,800	519,954	臨床倫理セミナー (会場費、通信費、交通費、謝礼、委託費)
<b>教育セミナー費</b>	<b>3,499,600</b>	<b>1,029,556</b>	
	900,000	152,300	CKDLNセミナー会場費 (事例検討会・地区セミナー:会場費)
	170,000	269,970	CKDLNセミナー交通費 (事例検討会・地区セミナー:交通・宿泊費)
	2,429,600	607,286	CKDLNセミナーその他経費 (会議費、謝礼、委託費、印刷費、通信費、消耗品費、雑費)
<b>特別研修費</b>	<b>3,409,440</b>	<b>963,534</b>	
	200,000	0	交通費
	3,209,440	963,534	その他経費 (通信費、印刷費、謝礼、委託費、雑費)
<b>広報費</b>	<b>9,966,000</b>	<b>7,883,105</b>	
	1,600,000	508,541	通信費・荷造運賃 (NL発送代)
	666,000	555,935	ホームページ・LINE管理費 (ホームページ管理料・ホスティングサービス料、LINE利用料)
	700,000	216,759	印刷費 (NL、封筒)
	7,000,000	6,601,870	学会誌 (25巻2号、26巻1号)

# 2023年度収支報告書〈一般会計〉

自 2023年9月1日 至 2024年8月31日

支出の部Ⅱ (単位:円)

項目	2023年度予算	2023年度決算	備考(内訳)
<b>事務局費</b>	<b>12,960,000</b>	<b>12,546,209</b>	
	300,000	116,596	通信費 (ドメイン料金、郵便・宅配便)
	150,000	309,223	交通費 (関連団体学術集会、シンポジウム交通費・宿泊費)
	100,000	17,629	消耗品費 (封筒代)
	800,000	878,900	支払報酬料 (税理士、司法書士)
	7,790,000	7,676,933	事務局業務委託費 (ガリレオ社/事務局業務・投標査読管理業務)
	750,000	760,000	関連学会年会費等 (IHAT、看保連、JANA、全腎協、JRRTAI名、関連団体学術集会・研究会参加費)
	2,000,000	1,906,713	雑費 (デジタル決済手数料、コンビニ手数料、振込手数料、zoom・ウェビナー・vimeo契約料)
	1,000,000	810,215	租税公課 (消費税、印紙、預金利息国税)
	70,000	70,000	法人税・住民税及び事業税 (法人都民税)
<b>助成金</b>	<b>500,000</b>	<b>500,000</b>	看護研究助成金
<b>寄付金</b>	<b>0</b>	<b>1,000,000</b>	IHATへ寄付
<b>予備費</b>	<b>1,000,000</b>	<b>0</b>	
支出合計	40,635,890	27,864,196	
収支差額	6,371,110	11,083,489	
正味財産前期繰越	57,759,563	57,759,563	
正味財産次期繰越	64,130,673	68,843,052	

# 貸借対照表

【一般会計】 2024年8月31日現在 (単位:円)

資産の部		負債・正味財産の部	
科目	金額	科目	金額
現金	0	未払金	3,051,727
銀行預金	64,869,358	未払法人税	70,000
貯蔵品	396,096	未払消費税	374,900
未収入金	2,190,700	前受金	1,320,000
前払費用	80,000	預り金	6,636
立替金【認定】	6,361,067	負債合計	4,823,263
立替金【学術】	1,320,000	指定正味財産 助成金	1,550,906
		一般正味財産	68,843,052
		(うち当期正味財産増減額)	(11,083,489)
合計	75,217,221	合計	75,217,221

# 財産目録

【一般会計】 2024年8月31日現在 (単位:円)

科目	内容	金額
資産の部		0
現金	手持現金	
銀行預金	三菱UFJ銀行 横浜支店 普通預金	61,939,580
	みずほ銀行 駒込支店 普通預金	714,254
貯蔵品	ゆうちょ銀行 振替口座	2,215,524
	学会誌在庫	396,096
未収入金	7~8月分コンビニ・レジット年会費入金分 他	2,190,700
前払費用	日本看護系学会協議会 2024年度年会	80,000
立替金【認定】	認定制度特別会計の事業費 一般会計立替分(一般会計口座にて支払分)	6,361,067
立替金【学術】	学術集会特別会計の事業費 一般会計立替分(一般会計口座にて支払分)	1,320,000
資産合計		75,217,221
負債の部		3,051,727
未払金	(2023年度分)9月以降支払経費・謝礼、JHAT・全腎協年会費	
未払法人税	法人都民税	70,000
未払消費税	消費税及び地方消費税	374,900
前受金	2024年度年会費、セミナー参加費	1,320,000
預り金	謝礼源泉税預り金	6,636
負債合計		4,823,263
差引正味財産		70,393,958



# 2023年度収支報告書 <認定制度・特別会計>

自 2023年9月1日 至 2024年8月31日

(単位:円)

収入の部			備考(内訳)
項目	2023年度予算	2023年度決算	
受験料	2,400,000	3,360,000	第21回認定試験受験申請 30,000円×112名
認定登録料	680,000	1,030,000	(第21回受験)10,000円×103名
更新審査料	5,010,000	3,300,000	(第11回再更新、第16回更新)30,000円×115名、(第10回再更新、第15回更新)返金5名
更新登録料	3,160,000	1,640,000	(第10・11回再更新、第15・16回更新)20,000円×82名
更新審査・登録料	350,000	360,000	(第6回再々更新)10,000円×36名
更新延長料	460,000	660,000	(第10・11回再更新、第15・16回更新、第6回再々更新)20,000円×34名、(第10回再更新)返金1名
再認定審査料	50,000	60,000	10,000円×6名
バッジ購入	0	2,000	500円×4個
雑収入	0	4,040	認定証再発行 2名
<b>合計</b>	<b>12,110,000</b>	<b>10,416,040</b>	

# 2023年度収支報告書 <認定制度・特別会計>

自 2023年9月1日 至 2024年8月31日

## 支出の部

項目	2023年度予算	2023年度決算	備考(内訳)
<b>認定試験・更新関連費用</b>	<b>2,968,000</b>	<b>1,893,783</b>	
会場費	150,000	79,530	会議会場
会議費	34,000	30,510	昼食代
旅費交通費	650,000	326,092	
通信費	250,000	122,796	郵送、切手代
印刷費	10,000	0	
消耗品費	200,000	82,565	証書ファイル、賞状用紙、クリアホルダー
支払報酬料	784,000	435,000	試験問題監査報酬、問題作成報酬、会議日当
委託費	880,000	797,500	CTB認定試験運営費(株)CBTソリューションズ
雑費	10,000	19,790	振込手数料
<b>その他費用</b>	<b>5,830,000</b>	<b>4,695,188</b>	
業務委託費	5,100,000	4,340,177	CKDLN認定業務(株)ガリレオ
通信費	30,000	4,120	
雑費	700,000	350,891	残高証明書発行手数料、振込手数料(クレジット決済手数料含む)
<b>予備費</b>	<b>500,000</b>	<b>0</b>	
支出合計	9,298,000	6,588,971	
収支差額	2,812,000	3,827,069	
正味財産前期繰越	45,663,854	45,663,854	
正味財産次期繰越	48,475,854	49,490,923	

# 貸借対照表

【認定制度特別会計】 2024年8月31日現在 (単位:円)

資産の部		負債・正味財産の部	
科目	金額	科目	金額
現金	0	未払金	4,499,535
銀行預金	58,741,525	前受金	0
未収入金	1,610,000	仮受金	0
前払費用	0	未払費用【一般】	6,361,067
		負債合計	10,860,602
		正味財産	49,490,923
		(うち当期正味財産増加額)	(3,827,069)
合計	60,351,525	合計	60,351,525

# 財産目録

【認定制度特別会計】 2024年8月31日現在 (単位:円)

科目	内容	金額
資産の部		
現金	手持現金	0
銀行預金	みずほ銀行 横浜支店 普通預金	58,741,525
未収入金	7~8月分クレジット登録料入金分	1,610,000
資産合計		60,351,525
負債の部		
未払金	業務委託費	4,499,535
未払費用【一般】	一般会計立替金の未清算分	6,361,067
負債合計		10,860,602
差引正味財産		49,490,923

# 2023年度収支報告書 <助成金・特別会計>

自 2023年9月1日 至 2024年8月31日

(単位:円)

## 収入の部

項目	2023年度決算	備考(内訳)
受取助成金	3,000,000	田辺三菱製薬医学教育助成(期間2024年1月1日～12月31日)
合計	3,000,000	

## 支出の部

項目	2023年度決算	備考(内訳)
<b>イベント・セミナー等開催費用</b>		
会場使用費	291,060	会場使用料・設備使用料(東京・札幌・大阪)
会議費	529	講師・座長等飲料
印刷費	8,532	チラシ作成
通信費	13,140	レターパック、宅配便
事務用消耗品費	4,007	布テープ・名札・A4用紙
支払手数料	44,000	一斉メール配信費用
講師謝礼	40,000	講師謝礼、運営謝礼、日当
講師交通費・宿泊費	115,193	
自記式質問紙記入用ボールペン	0	
<b>教育用プログラム作成費用</b>	600,000	腎臓ケアeラーニングHP
<b>教育用資材作成費用</b>	326,223	生きがい、連結カード印刷、教材冊子作成
<b>雑費</b>	6,410	振込手数料
支出合計	1,449,094	
収支差額	1,550,906	
指定正味財産前期繰越	0	
指定正味財産次期繰越	1,550,906	

# 収支報告書

【学術集会特別会計】

自 2023年9月1日 至 2024年8月31日  
(単位:円)

収入の部	項目	決算額
	学術集會会費	14,850,000
	展示・広告収入	9,416,000
	寄付金収入	410,000
	懇親会収入	0
	受取利息	541
	雑収入	1,081,500
	収入合計	25,758,041

支出の部	項目	決算額
	会議費	6,304
	旅費交通費	712,304
	通信費	454
	懇親会費	0
	消耗品費	21,555
	印刷費	33,725
	支払手数料	24,844,776
	賃借料(会場費)	954,190
	租税公課	81
	支払報酬料	317,000
	雑費	181,645
	支出合計	27,072,034
	差引差額	-1,313,993
	正味財産前期繰越	19,043,208
	正味財産次期繰越	17,729,215

# 貸借対照表

【学術集会特別会計】 2024年8月31日現在

(単位:円)

資産の部		負債・正味財産の部	
科目	金額	科目	金額
現金	16,420	仮受金	150,000
銀行預金	26,030,082	前受金	6,942,000
前渡金	94,713	未払費用【一般】	1,320,000
		負債合計	8,412,000
		正味財産	17,729,215
		(うち当期正味財産増源額)	-(1,313,993)
合計	26,141,215	合計	26,141,215

# 財産目録

【学術集会特別会計】 2024年8月31日現在

(単位:円)

科目	内容	金額
資産の部		
現金	手持現金	16,420
銀行預金	みずほ銀行 駒込支店	18,048,812
銀行預金	七十七銀行 東勝山支店(学術26回)	0
銀行預金	みずほ銀行 富山支店(学術27回)	7,981,270
前渡金	第27回学術集會に係る支出	94,713
資産合計		26,141,215
負債の部		
仮受金	入金内容確認中(第27回学術集會口座)	150,000
前受金	第27回学術集會に係る収入	6,942,000
未払費用【一般】	一般会計立替金の未清算分	1,320,000
負債合計		8,412,000
差引正味財産		17,729,215

貸借対照表総括表  
令和6年8月31日現在

(単位：円)

科目	一般会計	認定制度・特別会計	学術集会特別会計	助成金会計	内部取引消去	合計
資産の部						
流動資産						
現金(一般会計)						0
現金(認定・特別会計)						0
現金(学術集会・特別会計)			16,420			16,420
<b>(現金合計)</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>16,420</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>16,420</b>
ゆうちょ銀行	2,215,524					2,215,524
三菱東京UFJ銀行	61,939,580		0			61,939,580
みずほ銀行	714,254	58,741,525	18,048,812			77,504,591
みずほ銀行			7,981,270			7,981,270
						0
						0
<b>(預金合計)</b>	<b>64,869,358</b>	<b>58,741,525</b>	<b>26,030,082</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>149,640,965</b>
貯蔵品	396,096					396,096
未収入金	2,190,700	1,610,000				3,800,700
立替金【認定】	6,361,067					6,361,067
立替金【学術】	1,320,000					1,320,000
前渡金			94,713			94,713
前払費用	80,000					80,000
助成金会計				1,550,906		1,550,906
固定資産						0
敷金						0
<b>資産合計</b>	<b>75,217,221</b>	<b>60,351,525</b>	<b>26,141,215</b>	<b>1,550,906</b>	<b>0</b>	<b>163,260,867</b>
負債の部						
流動負債						
未払金	3,051,727	4,499,535				7,551,262
未払費用【一般】		6,361,067	1,320,000			7,681,067
未払法人税	70,000					70,000
未払消費税	374,900					374,900
前受金	1,320,000		6,942,000			8,262,000
預り金	6,636					6,636
仮受金			150,000			150,000
助成金会計	1,550,906					1,550,906
<b>負債合計</b>	<b>6,374,169</b>	<b>10,860,602</b>	<b>8,412,000</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>25,646,771</b>
正味財産の部						
<b>一般正味財産</b>	<b>68,843,052</b>	<b>49,490,923</b>	<b>17,729,215</b>	<b>0</b>		<b>136,063,190</b>
<b>指定正味財産</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>1,550,906</b>		<b>1,550,906</b>
正味財産合計	68,843,052	49,490,923	17,729,215	1,550,906		137,614,096
前期繰越	57,759,563	45,663,854	19,043,208	0		122,466,625
当期収支差額	11,083,489	3,827,069	△ 1,313,993	0		13,596,565
<b>負債・正味財産計</b>	<b>75,217,221</b>	<b>60,351,525</b>	<b>26,141,215</b>	<b>1,550,906</b>		<b>163,260,867</b>



## 監事監査報告書

一般社団法人  
日本腎不全看護学会  
理事長 岡 美智代 様

私たちは、日本腎不全看護学会の2023年9月1日から2024年8月31日までの財産の状況について、2024年10月8日に監査を行いました。

また、理事の業務執行の状況に関する監査にあたっては、理事会に出席し必要と認める場合には質問を行いました。

その結果について、以下のとおりご報告いたします。

### 監査の方法の概要

私たちは、理事会その他の重要な会議の議事録、および理事などからその職務の執行状況を聴取し、重要な決裁書類などを閲覧し、事務局などにおいて業務および財産の状況を調査し、事業報告を求めました。

また、会計帳簿などの調査を行い、計算書類、すなわち財産目録、貸借対照表および損益計算書の監査を実施いたしました。

### 監査結果

- ① 事業報告書は法令および定款に従い、法人の状況を正しく示していると認めます。
- ② 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、上記の計算書類の記載と合致しているものと認めます。
- ③ 計算書類は、法令および定款に従い、損益および財産状況を正しく示しているものと認めます。
- ④ 理事の職務執行に関する不正の行為または法令もしくは定款に違反する重大な事実はありません。

以上

2024年10月8日

一般社団法人日本腎不全看護学会

監事 熊澤 ひとみ 

同 濱井 章 



## 第2号議案 2024年度事業計画および予算案承認の件

当学会の2024年度事業計画および予算案を下記のとおり策定したので、その承認を求める。

## 2024 年度事業計画

常任理事会

理事長：岡美智代

活動目標	計画事業	内容
1. 学会運営が円滑に行われる	1. 理事会の開催（年 5 回予定） 理事会に合わせた事前打ち合わせとして、常任理事会を開催する。	年 1 回は学術集会に合わせて集合型による理事会を開催する。2024 年度は、富山大会の予定。その他については Web 会議とする。理事会の運営が円滑にできるように、事前に、各委員会の議案書の確認や議題について確認する。
2. 運営目標に向けた積極的な活動と委員会支援	<p>1. 「運営目標 1：国民への情報発信の強化と関連組織との連携」について</p> <p>2. 「運営目標 2：腎不全看護の知識と実践の構築と発展」について</p> <p>3. 「運営目標 3：腎不全看護を担う人材育成と活用」について</p> <p>4. 「運営目標 4：組織インフラとシステムのリストラクチャー」について</p>	<p>1) 研究委員会、国際交流委員会、災害対策委員会、医療安全委員会、倫理委員会の支援を通して関連組織との連携活動を行う。</p> <p>2) 広報委員会の支援を通して、JANN の活動について情報発信を行う。</p> <p>3) 日本腎不全看護学会学術集会・総会、第 27 回（会場：富山）、第 28 回（会場：神戸）の運営支援を行う。</p> <p>4) 日本腎不全看護学会学術集会・総会、第 29 回、第 30 回の開催計画</p> <p>1) 編集委員会、研究委員会、統計調査委員会への支援を通して、研究成果の創生と研究推進を行う。</p> <p>2) 看護政策委員への支援を通して、看保連への診療報酬の申請を行う。</p> <p>3) 書籍の企画、編集など</p> <p>研修、セミナー、看護研究助成金の授与、CKDLN, CN, CNS の活動支援など、すべての委員会への支援を通して、人材育成を推進し、活動の場を広げる。</p> <p>1) 各委員会に配置されている常任理事を通して、各委員会の活動を支援する。</p> <p>2) 4 つの運営目標推進のための各委員会への活動内容の確認と支援。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>

2024 年度事業計画

編集委員会

委員長：小坂志保

活動目標	計画事業	内容
<p>1. 本学会誌を年 2 回                      発刊し、投稿論文数                      の増加・質向上を狙                      う                      &lt;運営目標 2：腎不                      全看護の知識と実践                      の構築と発展&gt;</p>	1. 学会誌発行	<p>(1) 2025 年 4 月 第 27 巻 1 号発刊                      2024 年 11 月 第 27 回学術集会大会長へ原                      稿依頼                      2025 年 1 月 掲載原稿決定                      2025 年 2 月 最終原稿受理                      2025 年 3 月 校正</p> <p>(2) 2025 年 10 月 第 27 巻 2 号発刊                      2025 年 8 月 掲載原稿決定                      2025 年 9 月 最終稿入稿、                      2025 年 9 月 校正</p> <p>年間論文投稿数、採択率、平均査読期間など                      をホームページに掲載する</p>
	2. 査読・投稿論文の質の担保	<p>第 4 回査読セミナーの実施                      セミナー案：抄録の査読、文献の見極め                      学術集会での相談コーナーの設置                      第 28 回学術集会にて、論文投稿相談コーナ                      ーを設置し、論文投稿の支援を行う</p>
	3. 優秀論文賞の設立	<p>年々投稿論文数も増えてきているため、隔年                      の優秀論文賞の設立を検討する（準備ワーキ                      ングの設置を目指す）</p>
	4. 事業運営のための委員会開催	<p>(1) 2024 年 11 月 Web 開催                      (2) 2024 年 12 月（詳細未定）                      (3) 2025 年 1 月（詳細未定）                      (4) 2025 年 2 月（詳細未定）                      (5) 2025 年 3 月（詳細未定）                      (6) 2025 年 4 月（詳細未定）                      (7) 2025 年 5 月（詳細未定）                      (8) 2025 年 6 月（詳細未定）                      (9) 2025 年 7 月（詳細未定）                      (10) 2025 年 8 月（詳細未定）                      (11) 2025 年 9 月（詳細未定）                      (1)～(11)いずれも委員全員が参加予定 Web</p>

<p>2. 査読者への支援の充実</p> <p>&lt;運営目標 2：腎不全看護の知識と実践の構築と発展&gt;</p> <p>&lt;運営目標 3：腎不全看護を担う人材育成と活用&gt;</p>	<p>1. 査読者ガイドの作成</p>	<p>での開催予定</p> <p>上記以外はメールにて委員会開催</p> <p>新規査読者も数多くいる為、査読セミナーの内容を盛り込んだガイドを作成する</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
--	---------------------	---

2024 度事業計画

教育委員会

委員長：片村幸代

活動目標	計画事業	内容
<p>1. 腎不全看護の 基礎的教育の継続 ＜運営目標 3：腎不全看護を担う人材育成と活用＞</p>	<p>①治療選択特別研修のテキストの見直し。</p> <p>②治療選択特別研修のオンデマンド化</p> <p>③治療選択特別研修</p> <p>④第 27 回学術集会併設基礎教育セミナー</p> <p>⑤受験対策セミナー</p> <p>⑥透析看護入門研修</p>	<p>治療選択特別研修のテキストが 2019 年以來見直しがなされておらず、現在見直し作業中</p> <p>オンデマンドで、会員が受講しやすい体制を構築 進捗状況によっては、従来の方法で 1 クールほど、実施することも考慮</p> <p>2025 年 1 月～3 月開催予定（6 講座） 2025 年 8 月～10 月開催予定（6 講座）</p> <p>2024 年 11 月 10 日（日）開催 テーマ「SDM と ACP—考え方と実践」 講師 会田薫子先生 東京大学大学院人文社会系研究科死生学・応用倫理センター 上廣講座</p> <p>2025 年日時未定</p> <p>2025 年日時未定</p>
<p>2. 最新の知見を得る機会を学会員に提供する ＜運営目標 2：腎不全看護の知識と実践の構築と発展＞</p>	<p>第 19 回トピックス研修</p>	<p>◎2025 年日時未定</p>
<p>3. 今後取り組むべき課題について共有する機会を、腎不全看護と医療に関わる全ての専門職に提供する ＜運営目標 3：腎不全看護を担う人材育</p>	<p>2024 年度 CKDLN 研修</p>	<p>◎テーマ 「高齢者看護 認知症を有する透析患者の看護ケア」 2024 年 12 月～2025 年 1 月開催予定</p>

成と活用>		
-------	--	--

2024 年度事業計画

研究委員会

委員長：小坂志保

活動目標	計画事業	内容
<p>1. 腎不全看護に関する研究の質向上のための支援を行う                      &lt;運営目標 2：腎不全看護の知識と実践の構築と発展&gt;</p>	1. JANN 会員向け研究の促進を援助する	<p>1. JANN 会員の研究推進を目的として、会員が計画した研究について、SOLTI に登録されている学会員のメールアドレス宛に一斉メールを送信する。</p> <p>研究依頼があった場合、内容を審査し、一斉メール送信を事務局に依頼する。</p>
	2. 第 5,6 回研究倫理セミナーの開催	<p>2. 研究倫理セミナーで要望のあった内容について研究セミナーを開催する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 成果発表方法</li> <li>・ 各デザインの着想から、実走まで一連の流れについて</li> </ul>
	3. JANN 会員の研究相談の実施	<p>3. 学術集会開催時に、研究相談ブースの設置や、交流集会などを開催し、クリニカルクエストからリサーチクエストへの返還や、研究デザインの提案などを行っていく</p>
	4. 事業推進のための委員会開催 第 1 回 委員会 第 2 回 委員会 第 3 回 委員会 第 4 回 委員会 第 5 回 委員会	<p>4. 日時場所未定                      5~8 回開催し、そのうち 2 回を対面会議を予定している</p>
	5. 倫理審査申請業務	<p>5. JANN 会員から申請された案件について、倫理審査委員への連絡、審議、結果の報告等の業務を行う</p>
<p>2. 腎不全看護に寄与する研究・エビデンスの創出を行う                      &lt;運営目標 2：腎不全看護の知識と実践の構築と発展&gt;</p>	<p>1. 腎不全看護学の向上に寄与する重要課題について検討し、研究委員会主導で学会全体のエビデンスの構築を行う</p>	<p>1. 2024 年 9 月より「保存期 CKD 患者における看護実践及び、成果資料に関する実態調査」を実施しているため、本研究の解析、成果の発表を行う。また、結果について関連他学会と共有し、腎疾患医療の発展に寄与する。</p>





2024 年度事業計画

広報委員会

委員長：今西伸子

活動目標	計画事業	内容
<p>1. ホームページの管理                      &lt;運営目標 1：国民への情報発信の強化と関連組織との連携&gt;</p>	ホームページの管理の継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局と連携し、関連学会からのお知らせなどを掲載する。</li> <li>・掲載内容の確認。他委員会からの修正依頼の確認。</li> </ul>
<p>2. 災害時の対応                      &lt;運営目標 1：国民への情報発信の強化と関連組織との連携&gt;</p>	災害時の情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時の現状を、災害対策委員会と連携を図り、その情報を基にタイムリーに伝える。</li> </ul>
<p>3. CKDLN の維持増加                      &lt;運営目標 3：腎不全看護を担う人材育成と活用&gt;</p>	ホームページ、SNS の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページ、SNS を通じて、各委員会の活動を報告し、日本腎不全看護学会の活動に関心を持ってもらう</li> </ul>
<p>4. 広報の充実                      &lt;運営目標 4：組織インフラとシステムのリストラクチャー&gt;</p>	ホームページ、SNS の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関連学会や各委員会と連携して学術集会やセミナーなどの告知活動を行なう</li> <li>・メールニュース、LINE 公式アカウント、Facebook、Instagram をさらに充実させて、各委員会の活動を広める。</li> </ul>

2024 年度事業計画

看護政策委員会

委員長：鉾立優作

活動目標	計画事業	内容
令和 8 年腎不全看護領域の診療報酬改定に向けた要望書の作成・提出 ＜運営目標 2：腎不全看護の知識と実践の構築と発展＞	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理事会にて要望内容について審議</li> <li>・委員会及び他委員会より意見交換と集約</li> <li>・委員会の定期的 Zoom 会議の開催</li> </ul>	診療報酬改定に向け、腎不全看護領域における要件の検討及び作成
看保連 ・会議や情報交換会参加にて診療報酬評価について情報収集	<ul style="list-style-type: none"> <li>・看保連情報交換会、診療報酬あり方委員会、看護技術検討委員会への参加</li> </ul>	<p>令和 8 年度診療報酬改定に向けた要望書に関連した</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・意見交換の実施</li> <li>・他学会との連携</li> </ul> <p>12 月～1 月頃 第 2 回診療報酬あり方検討委員会開催（提出内容最終調整）</p> <p>4 月 看保連へ要望書最終提出</p> <p>5 月 医療技術評価提案書 看保連へ最終提出</p>
統計調査委員会との協働	<ul style="list-style-type: none"> <li>・論文検索</li> <li>・看保連への要望書等に必要データの検討、収集</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・統計調査委員会との協働により調査項目の検討</li> </ul>

2024 年度事業計画

医療安全・感染対策委員会 委員長：小山貴也

活動目標	計画事業	内容
<p>関連学会及び他組織と協働し、腎不全看護領域の医療事故・感染対策に関して委員へ貢献する                      &lt;運営目標 3：腎不全看護を担う人材育成と活用&gt;</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 日本医療事故調査機構（医療事故調査・支援センター）との協働</li> <li>2. 日本透析医学会危機管理委員会医療安全小委員会との協働</li> <li>3. 医療安全感染対策について委員からの相談に対応する</li> <li>4. 事業推進のための委員会を定期的に開催する</li> <li>5. 「透析医療における医療安全のための提言」策定のためのワーキンググループへの参加（参加先：日本透析医会）</li> <li>6. 協力学会からの講演依頼に対応する</li> <li>7. 医療安全感染対策に関する学びの場を提供する</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 協力学会として更新・登録手続きを行う事務局担当：ガリレオ事務局 統括責任者：委員長</li> <li>2. 協力学会説明会へ参加する 年1回（3月頃）開催予定</li> <li>3. 現在の調査が終了するまで協力する</li> <li>4. 医療事故調査依頼発生時は各担当者と協議し対応する</li> </ol> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 委員会への参加（年1回）</li> <li>2. 日本透析医学会学術集会・総会での委員会企画に参加する</li> </ol> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 相談内容に応じて専門領域の看護師と協働し対応する</li> </ol> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 年3回以上開催する（現地もしくはWeb）</li> </ol> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 委員会への参加や執筆・査読作業をおこない、提言策定の終結まで協働する</li> </ol> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 他学会が行なう資格制度確立や講演会等への協力依頼に対応する</li> </ol> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 本学会の学術集会等で、セミナーや講演会を企画運営する</li> </ol>

2024 年度事業計画

災害対策委員会

委員長：徳田勝哉

活動目標	計画事業	内容
1) 看護師 JHAT 隊員数の増加 ＜運営目標 1：国民への情報発信の強化と関連組織との連携＞	1) 腎不全患者や医療従事者の自然災害の被害を最小限にすることを旨とした、知識の獲得と各施設の対策の充実 2) JHAT 隊員養成研修会への参加募集	①効果的な広報活動のため、ホームページや SNS などを活用する。 ②JHAT 隊員養成研修の参加者数と JHAT 隊員登録数の確認と評価。 ③災害ニュースレターの作成(広報)
2) 看護師 JHAT 隊員の地区分布の明確化 ＜運営目標 1：国民への情報発信の強化と関連組織との連携＞	1) JHAT 隊員または、JHAT 研修参加者(一定水準の透析医療に対する災害対策の知識の獲得ができた者)の数・分布を可視化し、地域の偏りを最小限にする。	①JHAT 隊員または、JHAT 研修参加者数・分布図を可視化し、会員へ提示する。 ②配置人数や地区による偏りを明確化し、効果的な広報や JHAT 研修地区の決定に参画する。 ③災害ニュースレターの作成(広報)
3) 災害対策マニュアルまたは、チェックリストの作成 ＜運営目標 2：腎不全看護の知識と実践の構築と発展＞	1) 透析関連災害対策マニュアルの調査 2) 災害対策マニュアルの内容の検討と決定 3) 災害対策チェックリストの内容の検討と決定	①WEB 会議の開催(2～3 回/年) ②災害対策マニュアルまたはチェックリストの骨子の作成
4) 透析施設における災害状況の簡易報告ツールの検討と運用 ＜運営目標 1：国民への情報発信の強化と関連組織との連携＞	1) 透析災害迅速練達ツールを活用した訓練の実施 2) 訓練後のアンケート調査の実施	①WEB 会議の開催(2～3 回/年) ②透析災害迅速伝達ツールの運用の構築 ③透析災害迅速伝達ツールの評価・改定 ④透析施設における災害訓練の方法の検討
5) JHAT 事業の参画 ＜運営目標 1：国民への情報発信の強化と関連組織との連携＞	1) JHAT 事務局会議への参加 JHAT 隊員研修への参画	①JHAT 事務局会議に最低でも JANN 災害対策委員会のメンバーが 1 名以上は参加できるように調整する。 ②効果的な JHAT 隊員養成研修の開催・運用

2024 年度事業計画

国際交流委員会

委員長：高井奈美

活動目標	計画事業	内容
<p>1. 会員が海外の慢性腎臓病について関心を高められるように支援する</p> <p>&lt;運営目標 1：国民への情報発信の強化と関連組織との連携&gt;</p>	<p>1) 国際学会について、会員に向けて情報を提供する 海外の腎不全看護について、会員に情報を提供する</p>	<p>①関連のある国際学会およびセミナー等の情報を、ウェブサイト上より発信する</p>
<p>2. 海外の慢性腎臓病看護関連学会と交流し、各国の看護について情報発信する</p> <p>&lt;運営目標 2：腎不全看護の知識と実践の構築と発展&gt;</p> <p>&lt;運営目標 3：腎不全看護を担う人材育成と活用&gt;</p> <p>&lt;運営目標 4：組織インフラとシステムのリストラクチャー&gt;</p>	<p>1) 海外の腎不全看護について、会員に情報を提供する</p>	<p>①ISPD リエゾンナース、ANNS のメンバー国と連携し、お互いに情報交換を行う</p> <p>②海外から日本の慢性腎臓病看護の状況を情報収集できるよう、主要な内容を英語表記。英語表記された文書を用いて JANN ホームページ上で英語用ページを作成する</p> <p>③海外の腎臓病学会やセミナーなどに参加した委員会や会員の活動内容をニュースレターとして発信し会員に情報提供する</p> <p>④海外で有用な文献やガイドラインなど、国際交流できるトピックを発信する</p>

2024 年度事業計画

倫理委員会

委員長：山本美和

活動目標	計画事業	内容
<p>1. 学会活動および、学会運営を行うに際して、学会設立の趣旨にそった倫理上の指針を検討する                      &lt;運営目標 4：組織インフラとシステムのリストラクチャー&gt;</p>	<p>1. 「会員」、「学会活動」、「学会運営」、「その他必要とされる倫理的案件」について審議し、学会としての倫理上の指針を示す</p>	<p>1) 「会員」の倫理                      - 会員の行動を律する職業倫理規定は、日本看護協会の「看護師の倫理綱領」を基本とする                      2) 「学会活動」「学会運営」の倫理                      - 会員は、「日本腎不全看護学会の定款」によって活動する                      - 役員、理事、社員は「定款」および「細則」に則って会の運営を行う                      3) 学会のための COI 規約                      - COI フローチャートを作成中</p>
<p>2. 本学会員における倫理的感受性を高め、倫理的な実践を促進する                      &lt;運営目標 2：腎不全看護の知識と実践の構築と発展&gt;</p>	<p>2. 本学会員における倫理的感受性を高め、倫理的な実践を促進するような公益性のある事業を行う</p>	<p>1) 学会員へ臨床倫理に関する知識や情報提供の活動                      - 2024 年 11 月開催の第 27 回日本腎不全看護学会学術集会・総会にて、委員会企画シンポジウム                      - 臨床倫理について外部講師を招いてハイブリッドでのセミナーを行う                      セミナー内容は検討                      2) 学会へ提出された抄録の取り扱いに対する倫理的取り決め                      - 「抄録の取り扱いについて」のフローチャートの検討                      3) 倫理委員会がない施設や専門的の高い臨床症例に対して学会での臨床倫理相談窓口の設立の検討と運用準備                      - 臨床倫理の専門家を外部委員として追加                      4) 「腎代替療法に関する意思決定支援における日本腎不全看護学会のステートメント」の見直し</p>

2024 年度事業計画

統計調査委員会

委員長：篠原謙太

活動目標	計画事業	内容
<p>1. 会員のレジストリの構築                      &lt;運営目標 2: 腎不全看護の知識と実践の構築と発展&gt;</p> <p>2. 看護政策委員会との協働                      &lt;運営目標 4: 組織インフラとシステムのリストラクチャー&gt;</p>	<p>1) 会員情報管理システム (SOLTI) への運用</p> <p>2) 会員へのレジストリに関するデータ入力の依頼</p> <p>3) 入力されたデータの集計</p> <p>1) 看護系学会等社会保険連合への要望書等に必要データの検討・収集</p>	<p>・調査項目の最終決定をする</p> <p>・会員情報のページにレジストリ専用の新たなタブを作成する</p> <p>・4月～6月に実施予定とする</p> <p>・依頼方法は会員全員に対しメールで行う</p> <p>・看護政策委員会との協働により調査項目の検討・収集を行う</p>

## 2024 年度事業計画

認定委員会

委員長：宇賀神ゆかり

活動目標	計画事業	内容
<p>熟練した看護技術と知識を用いて、水準の高いCKD看護を実践できるCKDLNを養成する。</p> <p>&lt;運営目標 2：腎不全看護の知識と実践の構築と発展&gt;</p>	1. CKDLN 認定審査事業	<p>1) 第 22 回 CKDLN 認定審査の実施 申請期間：2025 年 1 月 7 日～1 月 17 日 筆記試験：2025 年 6 月 1 日（日）CBTS 方式</p> <p>2) 認定証の発行</p> <p>3) 筆記試験問題作成会議の実施</p>
<p>CKDLN の継続的な活動を支援するため、認定更新審査を実施する。</p> <p>&lt;運営目標 2：腎不全看護の知識と実践の構築と発展&gt;</p> <p>&lt;運営目標 3：腎不全看護を担う人材育成と活用&gt;</p>	2. CKDLN 更新審査事業	<p>1) 更新審査事業の実施 申請期間：2025 年 4 月 1 日～4 月 17 日</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第 17 回更新審査</li> <li>・ 第 12 回再更新審査</li> <li>・ 第 7 回再々更新審査</li> </ul> <p>2) 認定証の発行</p>
<p>CKDLN が継続的に役割を果たすための支援を行う。</p> <p>&lt;運営目標 3：腎不全看護を担う人材育成と活用&gt;</p>	3. 支援事業	<p>1) 第 27 回日本腎不全看護学会学術集会・総会における交流集会への参加</p> <p>2) 第 27 回日本腎不全看護学会学術集会・総会における CKDLN 相談コーナーの開設</p> <p>3) 年 3 回の事例の書き方セミナー開催 (1 月・2 月・3 月)</p>
<p>CKDLN の自己研鑽の機会を確保する。</p> <p>&lt;運営目標 3：腎不全看護を担う人材育成と活用&gt;</p>	4. 認定ポイント対象研修事業	1) 認定ポイント対象研修および認定ポイント対象企業主催研修に関する申請の審査の実施
<p>CKDLN 資格制度が円滑に運用できるよう、関わる業務を行う。</p>	5. 事業運営のための委員会開催	1) オンライン会議を基本として、年 4 回開催予定（うち 2 回は、認定審査受験資格審査判定会議、更新審査判定会議を兼ねる）



<p>&lt;運営目標 4：組織 インフラとシステム のリストラクチャー &gt;</p> <p>慢性腎臓病療養指導 看護師（CKDLN）商標 登録</p> <p>&lt;運営目標 4：組織 インフラとシステム のリストラクチャー &gt;</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・セミナー開催に向けてのWEB会議（4回）</li> </ul> <p>2）CKDLN 受験、更新、再更新、再々更新に関わる各種要項の作成および見直し</p> <p>1）申請に向けての準備と申請</p>
--	--	--

2024 年度事業計画

CKDLN 委員会

委員長：江上豊

活動目標	計画事業	内容
1. CKDLN ネットワーク作り <運営目標 2：腎不全看護の知識と実践の構築と発展>	1-1. 地区代表と都道府県代表の交流会の開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1 回/年</li> <li>・ 学術集会・総会前日に開催</li> <li>・ 各都道府県の活動状況の共有</li> <li>・ 都道府県の活動レポートの提出の啓発</li> </ul>
	1-2. 地域において CKDLN を組織化することを目的としたワークショップの開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1 回/年</li> <li>・ 学術集会・総会に開催</li> <li>・ 地域における CKDLN の連携体制や組織としての活動のあり方をあきらかにする</li> </ul>
	1-3. モデルとなる都道府県や地区の紹介	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 活動レポートや JANN の SNS、メールニュースなどを通して</li> </ul>
2. CKDLN の新規登録者の増加、再更新を促す <運営目標 3：腎不全看護を担う人材育成と活用>	2-1. CKDLN の魅力の発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交流会の様子や地区代表・都道府県代表から得た CKDLN の魅力(やりがいなど)を SNS などを通じて発信する</li> </ul>
	2-2. CKDLN のネットワークの中で、再更新者を支えるシステムの構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 都道府県(地域)の CKDLN のネットワークから地域へ CKDLN の活動や魅力などを発信する</li> <li>・ CKDLN の更新者を都道府県で支えられるようなシステムを考え構築を目指す</li> <li>・ 更新者の把握</li> </ul>
	2-3. 全国の CKDLN の困りごと、負担感の抽出	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全国の CKDLN に対してアンケート調査を行い介入方法を考える</li> </ul>
3. CKDLN の質向上 <運営目標 2：腎不全看護の知識と実践の構築と発展>	3-1. 地区セミナーの開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地区セミナーの開催</li> </ul>
	3-2. 都道府県 CKDLN 代表が目標(活動レポート)を立て活動する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 活動レポートを提出の啓発</li> <li>・ 活動レポートを SNS やメールニュースなどを通して発信</li> <li>・ CKDLN (地区・都道府県) 代表の交流会の開催</li> <li>・ 富山大会でワークショップの開催</li> </ul>

2024 年度事業計画

CKD 委員会

委員長：城間久美絵

活動目標	計画事業	内容
<p>CKD 看護の啓発普及活動として、各地域での市民公開講座を開催する</p> <p>&lt;運営目標 1：国民への情報発信の強化と関連組織との連携&gt;</p> <p>&lt;運営目標 3：腎不全看護を担う人材育成と活用&gt;</p>	<p>1. CKDLN 委員会と連携し、各地の CKDLN 代表と会議を行い、市民公開講座の開催準備を行う</p> <p>2. 事業運営のための委員会開催する</p>	<p>①CKDLN 委員会の委員と会議を行い、各地の代表者と顔合せをする</p> <p>②各地での市民公開講座の日程と会場の選定</p> <p>③講義を行う医師・看護師・管理栄養士の選定（各地域の CKDLN の活用）</p> <p>④行政との連携</p> <p>⑤市民へのチラシの作成</p> <p>⑥資料の選定と試供品の購入、アンケート内容の作成</p> <p>⑦当日の個人相談コーナーの運営</p> <p>⑧各演者の講演と講演後のアンケートの記入、回収</p> <p>⑨アンケートの集計</p> <p>⑩アンケート結果により修正が必要な内容の検討</p> <p>⑪どの地域でも市民公開講座が開催できるようにマニュアルを作成する</p> <p>①オンライン会議を基本として、年 4 回程度委員会を開催する。</p> <p>②年に一度以上は集合し計画内容の検討や実践の計画修正を対面で検討する。</p>

## 2024年度予算案 <一般会計>

自 2024年9月1日 至 2025年8月31日

### 収入の部

(単位:円)

行No.	項目	2023年度予算	2023年度決算	2024年度予算	備考(内訳)
1	年会費	35,580,000	34,610,000	34,740,000	
2		1,500,000	1,420,000	1,500,000	(一般)過年度
3		33,060,000	32,140,000	32,280,000	(一般)当年度 納付率85%想定
4		1,020,000	1,050,000	960,000	(賛助)当年度 納付率95%想定
5		0	0	0	(名誉)
6	研修費	2,930,000	2,285,500	2,940,000	
7		600,000	0	600,000	CKDLN受験対策セミナー
8		200,000	0	200,000	透析看護入門研修
9		800,000	552,000	800,000	トピックス研修
10		400,000	188,000	200,000	CKDLN研修
11		180,000	195,000	180,000	査読セミナー
12		300,000	1,065,000	480,000	研究セミナー
13		450,000	285,500	300,000	倫理セミナー
14				180,000	事例書き方セミナー
15	教育セミナー費	3,500,000	440,000	1,440,000	CKDLNセミナー 各地区で開催
16	特別研修費	4,680,000	1,362,000	2,880,000	
17	その他収入	317,000	250,185	317,000	
18	雑収入	317,000	250,084	317,000	テキスト印税、WEB文献使用料、研究倫理審査申請費、認定ポイント対象研修会申請料など
19	受取利息	0	101	0	預金利息
20	収入合計	47,007,000	38,947,685	42,317,000	

### 支出の部 I

行No.	項目	2023年度予算	2023年度決算	2024年度予算	備考(内訳)
21	会議費	1,550,000	738,485	1,570,000	常任理事会4回、理事会4回、社員総会・会員総会1回、会計監査1回
22		200,000	113,825	200,000	理事会・社員総会・会員総会 (会議会場費、お弁当代)
23		800,000	194,075	800,000	理事会・社員総会・会員総会 (交通費)
24		50,000	29,720	70,000	理事会・社員総会・会員総会 (通信費)
25		500,000	400,865	500,000	理事会・社員総会・会員総会 (雑費)
26	委員会活動費	5,517,400	1,275,998	7,721,000	
27		547,500	113,944	315,500	編集委員会 (会議費、交通費、投稿論文相談ブース費用など)
28		280,000	0	30,000	教育委員会 (印刷費、雑費など)
29		672,500	201,711	973,500	研究委員会 (会議費、交通費、研究倫理審査費用、研究相談ブース費用など)
30		50,000	0	50,000	看護研究助成審査委員会 (会議費、交通費など)
31		181,000	0	219,200	広報委員会 (会議費、交通費など)
32		272,000	3,300	158,000	看護政策委員会 (会議費、交通費など)
33		298,000	0	20,000	災害対策委員会 (会議費、交通費など)
34		213,000	0	166,600	医療安全・感染対策委員会 (会議費、交通費など)
35		380,500	0	404,000	国際交流委員会 (会議費、交通費、HP英語版作成費など)
36		150,000	193,812	345,000	倫理委員会 (会議費、交通費、臨床倫理相談窓口費用など)
37		567,500	16,500	713,400	統計調査委員会 (会議費、交通費、委託費など)
38		600,000	270,722	600,000	CKD委員会 (会議費、交通費など)
39		209,000	115,565	325,200	認定委員会 (会議費、認定ポイント対象研修会審査委託費用など)
40		1,096,400	360,444	1,900,600	CKDLN委員会 (会議費、交通費、委託費など)
41		0	0	1,500,000	選挙管理委員会 (会議費、印刷費、通信費、委託費など)
42	研修費	2,233,450	1,927,309	2,752,650	
43		302,400	235,175	252,400	トピックス研修 (謝礼、委託費など)
44		336,360	0	379,360	透析看護入門研修 (謝礼、委託費など)
45		318,980	0	315,680	CKDLN受験対策セミナー (謝礼、委託費など)
46		180,550	179,604	260,460	学術集会併設セミナー (謝礼、委託費など)
47		284,360	187,420	153,180	CKDLN研修 (謝礼、委託費など)
48		168,000	181,456	166,180	査読セミナー (謝礼、委託費など)
49		158,000	623,700	398,620	研究セミナー (謝礼、委託費など)
50		484,800	519,954	475,050	倫理セミナー (謝礼、委託費など)
51				351,720	事例書き方セミナー (謝礼、委託費など)
52	教育セミナー費	3,499,600	1,029,556	1,419,810	
53		900,000	152,300	152,000	CKDLNセミナー会場費 (研修会場費)
54		170,000	269,970	282,000	CKDLNセミナー交通費 (講師等旅費)
55		2,429,600	607,286	985,810	CKDLNセミナーその他経費 (謝礼、委託費など)

56	特別研修費	3,409,440	963,534	2,071,680	
57		0	0	0	会場費 (研修会場費)
58		200,000	0	0	交通費 (講師等旅費)
59		3,209,440	963,534	2,071,680	その他経費 (講師謝礼、消耗品、委託費など)
60	広報費	9,966,000	7,883,105	9,616,000	
61		1,600,000	508,541	1,250,000	通信費・荷造運賃 (会告などの発送代、宅配便 他)
62		666,000	555,935	666,000	ホームページ・LINE管理費 (ホームページ管理・更新手数料、公式LINE利用料)
63		700,000	216,759	700,000	印刷費 (会告、封筒など)
64		7,000,000	6,601,870	7,000,000	学会誌 (電子版2回)

支出の部Ⅱ

行No.	項目	2023年度予算	2023年度決算	2024年度予算	備考(内訳)
65	事務局費	12,960,000	12,546,209	13,620,000	
66		300,000	116,596	300,000	通信費 (事務通信費)
67		150,000	309,223	300,000	交通費 (関連学会参加交通費)
68		100,000	17,629	100,000	消耗品費 (事務消耗品費)
69		800,000	878,900	800,000	支払報酬料 (税理士、司法書士)
70		7,790,000	7,676,933	8,090,000	事務局業務委託費 (ガリレオ社/事務局業務・投稿査読管理業務)
71		750,000	760,000	760,000	関連学会年会費 (JHAT、看保連、JANA、全腎協など)
72		2,000,000	1,906,713	2,200,000	雑費 (クレジット決済手数料・コンビニ手数料、振込手数料等)
73		1,000,000	810,215	1,000,000	租税公課 (消費税、印紙、預金利息国税)
74		70,000	70,000	70,000	法人税・住民税及び事業税 (法人都民税)
75	助成金	500,000	500,000	500,000	看護研究助成金
76	寄付金	0	1,000,000	0	
77	予備費	1,000,000	0	1,000,000	
78	支出合計	40,635,890	27,864,196	40,271,140	
79	収支差額	6,371,110	11,083,489	2,045,860	
80	正味財産前期繰越	57,759,563	57,759,563	68,843,052	
81	正味財産次期繰越	64,130,673	68,843,052	70,888,912	

## 2024年度予算案 <認定制度・特別会計>

自 2024年9月1日 至 2025年8月31日

### 収入の部

(単位:円)

行No.	項目	2023年度予算	2023年度決算	2024年度予算	備考(内訳)
1	受験料	2,400,000	3,360,000	2,400,000	第22回認定試験受験申請 30,000×80名
2	認定登録料	680,000	1,030,000	800,000	(第22回受験)10,000円×80名
3	更新審査料	5,010,000	3,300,000	1,200,000	(第12回再更新、第17回更新)30,000円×40名
4	更新登録料	3,160,000	1,640,000	740,000	(第12回再更新、第17回更新)20,000円×37名
5	更新審査・登録料	350,000	360,000	200,000	(第7回再々更新)10,000円×20名
6	更新延長料	460,000	660,000	160,000	20,000円×8名
7	再認定審査料	50,000	60,000	50,000	10,000円×5名
8	バッチ購入	0	2,000	0	
9	受取利息	0	0	0	
10	雑収入	0	4,040	0	
11	<b>合計</b>	<b>12,110,000</b>	<b>10,416,040</b>	<b>5,550,000</b>	

### 支出の部

行No.	項目	2023年度予算	2023年度決算	2024年度予算	備考(内訳)
12	<b>認定試験・更新関連費用</b>	<b>2,968,000</b>	<b>1,893,783</b>	<b>2,733,800</b>	
13	会場費	150,000	79,530	150,000	審査会議等会場費
14	会議費	34,000	30,510	75,600	お弁当代等
15	旅費交通費	650,000	326,092	658,200	会議交通費
16	通信費	250,000	122,796	200,000	通信費(切手、宅配便)
17	印刷費	10,000	0	10,000	会議印刷費
18	消耗品費	200,000	82,565	200,000	備品費
19	支払報酬料	784,000	435,000	660,000	書類・事例審査、作問等謝礼
20	委託費	880,000	797,500	770,000	CBT認定試験運営費
21	雑費	10,000	19,790	10,000	備品、振込手数料
22	<b>その他費用</b>	<b>5,830,000</b>	<b>4,695,188</b>	<b>4,230,000</b>	
23	業務委託費	5,100,000	4,340,177	3,600,000	CKDLN認定業務
24	通信費	30,000	4,120	30,000	資料送付など
25	雑費	700,000	350,891	600,000	振込手数料(クレジット決済手数料含む)
26	租税公課	0	0	0	預金利息(国税)
27	<b>予備費</b>	<b>500,000</b>	<b>0</b>	<b>500,000</b>	
28	<b>支出合計</b>	<b>9,298,000</b>	<b>6,588,971</b>	<b>7,463,800</b>	
29	<b>収支差額</b>	<b>2,812,000</b>	<b>3,827,069</b>	<b>-1,913,800</b>	
30	<b>正味財産前期繰越</b>	<b>45,663,854</b>	<b>45,663,854</b>	<b>49,490,923</b>	
31	<b>正味財産次期繰越</b>	<b>48,475,854</b>	<b>49,490,923</b>	<b>47,577,123</b>	

第3号議案 学術集会大会長承認の件

**第29回日本腎不全看護学会学術集会・総会**

**大会長 木村 剛**(札幌白石記念病院)

**第30回日本腎不全看護学会学術集会・総会**

**大会長 城間 久美絵**(熊本赤十字病院)